

横田地域活動拠点施設改修工事

目 次

A1	特記仕様書 1	E1	電気設備特記仕様書
A2	特記仕様書 2	E2	空調動力設備撤去図
A3	特記仕様書 3	E3	照明器具・換気・自動火災報知設備 撤去図
A4	特記仕様書 4	E4	空調動力設備図（改修後）
A5	特記仕様書 5	E5	照明器具要図（改修後）
A6	仕上表	E6	電灯設備図（改修後）
A7	配置図・付近見取図	M1	機械設備工事特記仕様書
A8	撤去図	M2	空調・換気設備図（改修前）
A9	平面図（改修後）	M3	空調・換気設備図（改修後）
A10	立面図		
A11	断面図		
A12	天井伏図		
A13	展開図 1（改修後）		
A14	展開図 2（改修後）		

舛岡建築設計事務所

広島県安芸高田市高宮町原田 4132
1 級 建 築 士 事 務 所 広 島 県 知 事 登 録 24(1) 5664
1 級 建 築 士 (大 臣) 1 6 2 1 0 4 号 舛 岡 実 千 雄

[illegible]

16 建 具 工 事	防火戸との連動 ・ 適用する（適用箇所は建具表及び図示による） ・ 自動閉鎖機構 ・ ヒューズ装置 ・ 熱感知器 ・ 煙感知器 ※ 適用しない 見本の作成等 製 作 ※ 行わない ・ 行う（建具表による） 仮 組 ※ 行わない ・ 行う（建具表による） 防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する（建具表による） 外部に面する建具性能等級等（コンクリート系下地及び鉄骨下地） (16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1) 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A 種 S-4 A-3 W-4 70 (引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時で性能が確保できない場合は、100) ・ B 種 S-5 ・ C 種 S-6 A-4 W-5 100 ※ 適用箇所は図示による 外部に面する建具性能等級等（木下地） (表16.2.2) 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ D 種 S-2 ・ E 種 S-3 A-3 W-3 ※建具表による ※ 適用箇所は図示による (表14.2.1) 表面処理 外部に面する建具 ※ BB-1種 ・ BB-2種 内部建具 ※ BC-1種 ・ BC-2種 BB-2種、BC-2種の場合 ・ ブロンズカラー（※標準色 ・ 濃色） ・ ステンカラー 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する（適用範囲は図示による） ※ 適用しない 適用する場合の遮音性能等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する（適用範囲は図示による） ※ 適用しない 適用する場合の断熱性能等級 ・ H-2 ・ H-3 耐震ドアセット、耐震サッシ ・ 適用する（適用範囲は図示による） ※ 適用しない 適用する場合の面内変形追随性の等級 ・ D-1 ・ D-2 使用方法による区分 ※外面納まりの可動式 ・ 内部納まりの開き式 ・ 防虫網（線径0.25mm 網目16-18メッシュ） ・ ガラス繊維入り合成樹脂 ・ ステンレス (SUS 316) ※合成樹脂 ・ 防鳥網 ※ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm 外部に面する建具性能等級等 (16.3.2) (表16.3.1) (表16.3.2) (コンクリート下地系及び鉄骨下地) 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A 種 S-4 ・ B 種 S-5 A-4 W-4 ・ C 種 S-6 W-5 ※建具表による ※ 適用箇所は図示による 木下地 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ D 種 S-4 ・ E 種 S-5 A-4 W-3 ※建具表による ※ 適用箇所は図示による 防音ドアセット、防音サッシ (表16.3.3) ・ 適用する（適用範囲は図示による） ※ 適用しない 適用する場合の遮音性能等級 ・ T-1 ・ T-2 断熱ドアセット、断熱サッシ (表16.3.4) ・ 適用する（適用範囲は図示による） ※ 適用しない 適用する場合の断熱性能等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 表面色 (16.3.4) ・ 標準色（白） ・ 特注色（・ 黒 ・ ブラウン ・ シルバー） 簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2) ※ 使用する（適用箇所は図示とする） 気密性 ※ A-3 ・ 水密性 ※ W-1 ・ ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 ・ S-6 鋼 板 (16.4.3~4) ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 建具寸法が(16.4.4(1))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ 区 分 使用箇所 厚さ (mm) 窓 枠類 枠、方立、無目 (表16.4.2)に同じ 出入口 枠類 一般部分 2.3 戸 中骨 2.3 上記以外 (表16.4.2)に同じ 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない (16.4.6)	16. 鋼製軽量建具 (16.5.2~4) (表16.5.1) 簡易気密型ドアセット (16.5.2~4) (表16.5.1) ※ 使用する（適用箇所は図示による） 気密性 ※ A-3 ・ ・ 使用しない 戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ・ 使用しない (16.5.6) 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 簡易気密型ドアセット (16.6.2~5) ※ 使用する（適用箇所は図示とする） 気密性 ※ A-3 ・ 水密性 ※ W-1 ・ ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 ・ S-6 表面処理 ※ HL ・ 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ 建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※B種 ・ C種 かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 桧、鏡板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新島の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ぶすま 工法（・ 在来型 ・ チップ型） (16.8.2) (表16.8.1) 金 物 の 種 類 型 式 製 造 所 シリンダー箱錠 本締り付きモノロック レバーハンドル レバー長さ L=130程度 錠前類と同一製造所 モノロック シリンダー本締り錠 クレモン錠 ドアクロージャー フロアヒンジ ヒンジクロージャー ビボット形 JIS表示認証製品 ビボットヒンジ 戸あたり あおり止め付き 標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具（標準型共）のドアクロージャー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。 マスターキーの製作 ・ 要 ・ 不要 (16.8.4) ・ 不要（既存マスターキーで施錠可能とする。） 引き戸用検出装置の種類 ・ 光線（反射）センサー (16.9.3) (表16.9.4) ・ タッチスイッチ ※補助センサーを設置する（補助光電センサー） 凍結防止装置 ・ 要 ※ 不要 全半開装置 ※ 設ける（半開幅＝ ） ・ 設けない (16.11.2) (表16.11.1) 種 類 シャッターケース 耐風圧強度 開閉方式 保護装置 ・ 管理用シャッター ※ 設ける ・ 設けない ※ 上部電動式（手動併用） 障害物感知装置（自動閉鎖型） ・ 上部電動式 ※ 設ける ・ 設けない ・ 防火シャッター ※ 設ける ※ 上部電動式（手動併用） 障害物感知装置（自動閉鎖型）を設ける。 ・ 外壁用 ・ 屋内用 ・ 防煙シャッター (16.11.3) スラット及びシャッターケース用鋼板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312) (16.12.2~4) (表16.12.1) 開閉形式 シャッターケース 耐風圧強度 スラットの形状 保護装置 ※ 手動式 ※ 設ける 建具表及び図示による ※ インターロック型 障害物感知装置（自動閉鎖型） ・ 上部電動式（手動併用） ・ 設けない ※ オーバーラッピング型 ※ 設ける ・ 設けない (16.12.3) スラットの材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312) ・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3322) (16.13.2) (16.13.3) 材 質 開閉方式 収納形式 耐風圧性能 ガイドレール ※スチール ※ バランス式 ※ スタン ・ 50 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 タイプ ・ チェーン式 ・ ダード形 ・ 75 ・ ステンレス ・ アルミニウム ・ 電動式 ・ ロー ・ 100 タイプ ・ ハイ ・ ヘッド形 ・ 125 ・ ファイバー ・ ハイ (JIS A4715 ガラスタイプ ・ リフト形による強さの区分) ・ パーチカル形 保護装置 障害物感知装置 ※ 設ける ・ 設けない	16. ガラス (16.14.2) (16.14.3) ※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。 ※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。 合わせガラスの特性 ・ I 類 ・ II-1 類 ・ II-2 類 ・ III 類 強化ガラスの特性 ・ I 類 ・ III 類 熱線吸収板ガラス 性能 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 断熱性 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 日射取得性、日射遮蔽性 ・ G ・ S 封止の加速耐久性による区分 ※ III 類 熱線反射ガラス 日射遮へい性 ・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種 耐久性 ・ A 類 ・ B 類 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ ・ シルバー 反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側 映像調整 ・ 行う ・ 行わない ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガスケット（可動アルミ製建具及び樹脂製建具に限る） 防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラス溝の大きさ ・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による 複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。 (16.14.5) 表面形状 (JIS A5212) モジュール呼び寸法による区分（長さ×高さ） 厚さによる区分 正方形 ・ 125×125 ・ 160×160 ・ 80 ・ 200×200 ・ 320×320 ・ 95 長方形 ・ 250×125 ・ 320×160 125 品質等 ガラスの種類 柄 目地色 金 属 枠 耐火性能 ・ 一般ガラス ・ 無 ・ 白 ・ アルミニウム製 ・ 規定しない ・ 乳白ガラス ・ 有 ・ グレー （表面処理） ・ 有（分間） ・ カラーガラス ・ ステンレス製（表面仕上） ・ 熱線反射ガラス	18. 装 工 事 6. アクリル樹脂非水分散形塗料塗り（屋内） (N A D) (18.6.2) 7. 耐候性塗料塗り（屋外） (D P) (18.7.2~4) (表18.7.1~3) 上塗りの等級 ※1 級 ・ 2 級 ・ 3 級 垂鉛めっき鋼面 ※1 級 ・ 2 級 ・ 3 級 コンクリート面及び押出成形セメント板面の種別 ※A 種 ・ B 種 ・ C 種 8. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（E P-G） (18.8.2~4) コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面 ・ A 種 ※B 種 鉄鋼面（屋内） ・ A 種 ※B 種 9. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（E P） (18.9.2) コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面 ・ A 種 ※B 種 10. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り（E P-T） (18.10.2) コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面（屋内） ・ A 種 ※B 種 11. ウレタン樹脂ワニス塗り（U C） (18.11.2) 木部 ・ A 種 ※B 種 12. オイルステイン塗り（O S） (18.12.2) 木部 ・ 水性 ・ 油性 13. 木材保護塗料塗り（W P） (18.13.2) 木部（屋外） ・ A 種 ※B 種	19. 内 装 工 事 1. ビニル床シート (19.2.2) (19.2.3) 種 類 記号 色 柄 厚さ (mm) 特殊機能 工 法 ※ 発泡層のないもの ※ F S ※ 無地 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ※ 熱溶接 ・ 発泡層のあるもの ・ H S ・ マーブル ・ 2.5 ・ 耐動荷重 ・ 突付け 目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法 2. 化粧ビニル床シート JIS A5705のJIS表示認証製品で、表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの 種類の記号 色 柄 厚さ (mm) 特殊機能 工 法 F S ※ 木目調 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ※ 熱溶接 ・ 石目調 ・ 2.5 ・ 耐動荷重 ・ 突付け 上記以外はすべてビニル床シートに同じ 目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法 3. ビニル床タイル JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2) (19.2.3) 種 類 記号 寸法 暑さ (mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※ K T ※300×300 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ビニル床タイル ・ 複層 ・ 300×300 ・ 2.0 ・ 耐動荷重 ・ 単層 ・ 450×450 ・ 2.0 ・ 耐動荷重 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）1.2~3.1程度 又は耐電圧（JIS L 1023）3kV以下 ・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）1×10 ¹⁰ オーム未満 ・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）5.2以上 又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）1×10 ⁷ オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験（発泡層のあるビニルシートのみ）およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。 5. 視覚障害者用床タイル (19.2.2) 材 質 寸 法 (mm) ・ 塩化ビニル系 ・ セツ器質タイル系 300×300 6. ビニル幅木 (19.2.2) 材 種 軟質 ・ 硬質 高 さ (mm) ※ 60 ・ 75 ・ 100 厚 さ (mm) ※ 1.5 ・ 2.0 7. カーベット敷き (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ・ タフテッドカーベット 施工箇所 バイエル バイエル 工 法 品 質 帯電性 形状 長さ (mm) ※ 全面接着工法 (19.3.2) ・ グリッパ工法 による 品質は参考商品名である ・ タイルカーベット (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) 施工箇所 種 類 バイエル形状 寸 法 総厚さ 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイエル ※500×500 ※ 6.5 製造所の仕様による ・ 第2種 ・ カットバイエル ・ 8. 合成樹脂塗床 (19.4.2) 材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 浸透性ハイブリッド強化剤 仕上の種類 (19.4.3) ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
	2. アルミニウム製建具	7. ステンレス製建具	15. ガラスブロック（中空）	19. 内 装 工 事	
	3. 網戸	10. 自動ドア開閉装置	17. カーテンウォールの種類	1. ビニル床シート	
	4. 樹脂製建具	11. 重量シャッター	1. カーテンウォールの性能等	2. 化粧ビニル床シート	
	5. 鋼製建具	12. 軽量シャッター	2. カーテンウォールの性能等	3. ビニル床タイル	
	13. オーバーヘッドドア		4. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能		
			5. 視覚障害者用床タイル		
			6. ビニル幅木		
			7. カーベット敷き		
			8. 合成樹脂塗床		

19内装工事

9.フローリング張り

・単層フローリング
(19.5.2~3)(19.5.5~6)(表19.5.3~4)

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	塗装
・フローリングボード1等	※なら	※15幅75 ・長さ400以上	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステンの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品
・フローリングブロック1等	※なら	※15(303×303)	・接着工法	・生地のままワックス ・既塗装品

・複合フローリング

種別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
・複合フローリング	※なら	・A種 ・B種 ※C種	・行う ※行わない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステンの上ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・既塗装品
・大型積層フローリング	・なら	・	・行う ・行わない	・特殊張り工法 (体育館床)	・生地のままワックス塗り ・既塗装品

10.量敷き

11.石こうボードその他ボード及び合板張り

12.遮音シール材

13.壁紙張り

14.断熱材

19内装工事

20.フリーアクセスフロア

1.フリーアクセスフロア

2.可動間仕切(パーテーション)

3.移動間仕切(スライディングドア)

4.トイレブース

5.階段滑り止め(ノンスリップ)

6.床目地枠

7.黒板及びホワイトボード

8.鏡

9.表示

10.煙突ライニング材

11.ブラインド

12.ロールスクリーン

13.カーテン

14.カーテンレール

15.アルミニウム製カーテンボックス

16.点検口

20.くつふきマット

17.ステンレス流し台

18.コンロ台

19.つり戸棚

20.水切棚

21.旗竿

22.屋内掲示板

23.視覚障害者用誘導ブロック

24.出隅面取材

25.かぎ箱

26.消火器ボックス

27.ビクチャーレール

28.郵便受

21.ダレーチング

22.鋳鉄製マンホールふた

23.緑石及び側溝

24.埋戻し土

1.再生材

2.盛土材料

3.フィルター層及び凍上抑制層用材料

4.路床安定処理

5.砂の粒度試験

6.路床土の支持力比(CBR)試験

7.路床の締固め度の試験

8.路盤材料

9.路盤の締固め度の試験

10.アスファルト舗装

11.コンクリート舗装

12.カラー舗装

13.透水性アスファルト舗装

14.ブロック系舗装

15.砂利敷き

16.区画線

1.植栽地の確認等

2.植栽基礎

3.植込み用土

4.土壌改良材

5.芝

6.屋上緑化

1.一般事項

2.測定対象化学物質

3.測定方法

4.測定する室

5.測定結果等報告書の提出

6.その他

構成・図示
(22.7.2)(22.7.6)
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
※行わない・行う
舗装の平坦性は著しい不陸がないものとする
(22.8.2)(22.8.4)(表22.8.1)
・インターロッキングブロック舗装
・コンクリート平板舗装
・舗石舗装基層
※モルタル目地
※コンクリート版
・アスファルト混合物
※A種(通路)※B種(建物周囲その他)
(22.9.2)
※JIS K 5665 3種1号

※排水性及び土壌硬度の確認
(23.1.3)
・水素イオン濃度指数(pH)・電気伝導度(EC)の試験
(23.2.2)(表23.2.2)

種別	樹種	等	植栽基礎の適用
・A種	樹木	・	・適用する ※適用しない
※B種	芝	地被類木	※適用する ・適用しない
・C種	・	・	・
・D種	・	・	・

※現場発生の良質土・客土
(23.2.3)
・パーク堆肥(50L/m²)・下水汚泥コンポスト(10L/m²)
(23.2.3)
種別※コウライシバ・ノシバ
(23.4.2)

工法	土壌層厚さ	排水層
・屋上緑化システム	・6cm ・15cm ・30cm	・適用する 材質・軽量骨材 ・板状成形品
・屋上緑化軽量システム	※システム製造所の仕様による	・

表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値

化学物質名	室内濃度指針値	
①ホルムアルデヒド	100 μg/m ³	0.08 ppm
②トルエン	260 μg/m ³	0.07 ppm
③キシレン	200 μg/m ³	0.05 ppm
④エチルベンゼン	3,800 μg/m ³	0.88 ppm
⑤スチレン	220 μg/m ³	0.05 ppm
⑥パラクロロベンゼン	240 μg/m ³	0.04 ppm
⑦テトラチカン	330 μg/m ³	0.04 ppm
⑧アセトアルデヒド	48 μg/m ³	0.03 ppm
⑨ノナナール	(暫定)41 μg/m ³	0.007 ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 μg/m ³	0.0015 ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 μg/m ³	0.0063 ppm
⑫クロルピリホス	1 μg/m ³	0.00007 ppm
⑬ダイアジノン	0.29 μg/m ³	0.00002 ppm
⑭フェノフルアル	33 μg/m ³	0.0038 ppm
⑮総揮発性有機化合物(TVOC)	400 μg/m ³	(暫定目標値)

1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等
・室名：

2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室
・室名：

・屋外(周囲の建物から離れた場所1か所)

次の事項を記載した報告書を2部提出する。
1) 測定結果(アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。)
2) 試料採取時の状況(気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数)
3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器
4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

表の化学物質①から⑮のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。
TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。

訂正

図面番号
A
4

昇岡建築設計事務所

設計者
構造
1級建築士(大臣) 162104号 昇岡実千雄

図面名
特記仕様書4

設計年月日

縮尺
NS

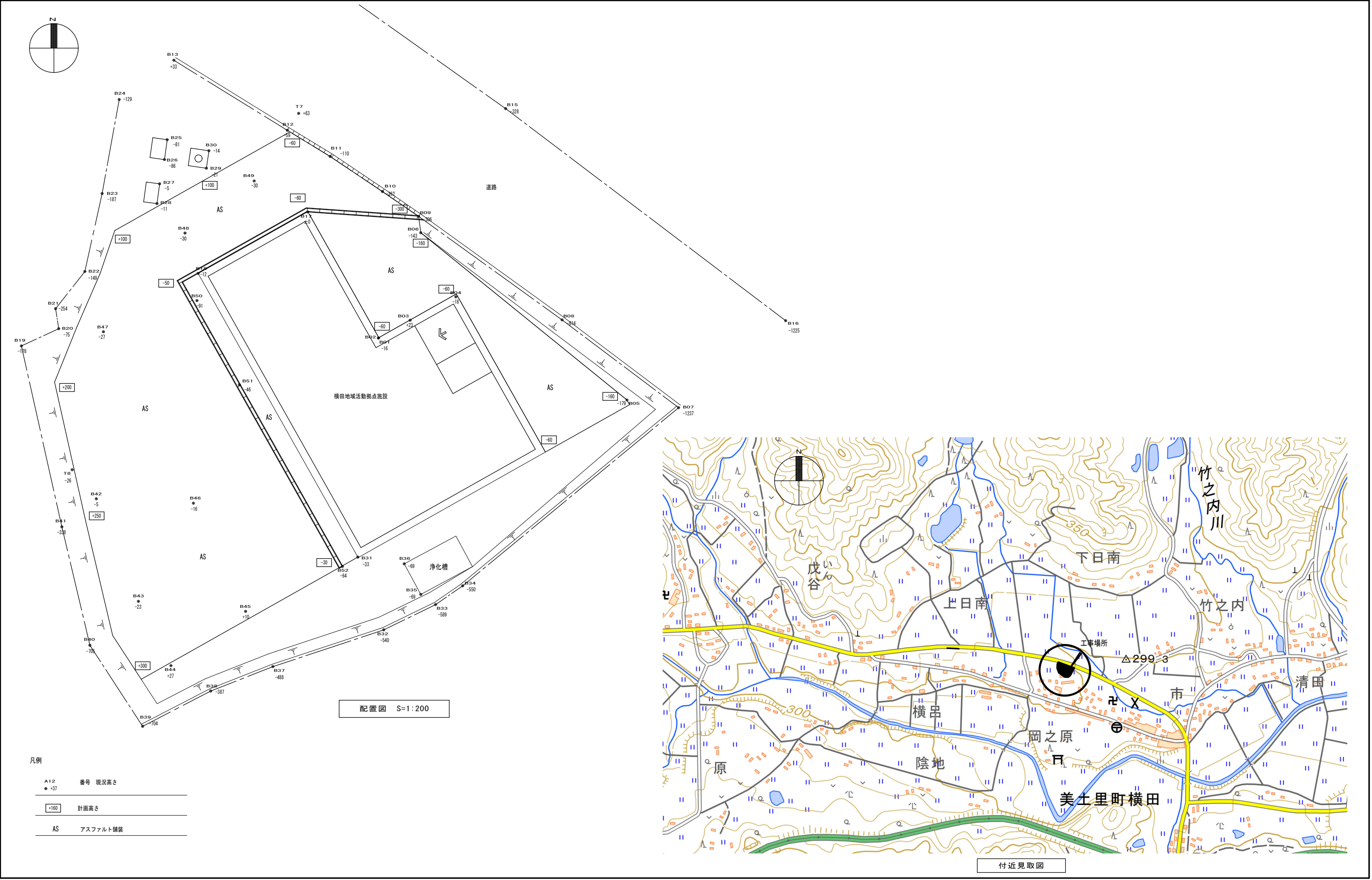
広島県安芸高田市高宮町原田4132
1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)5664

図面番号
A
4

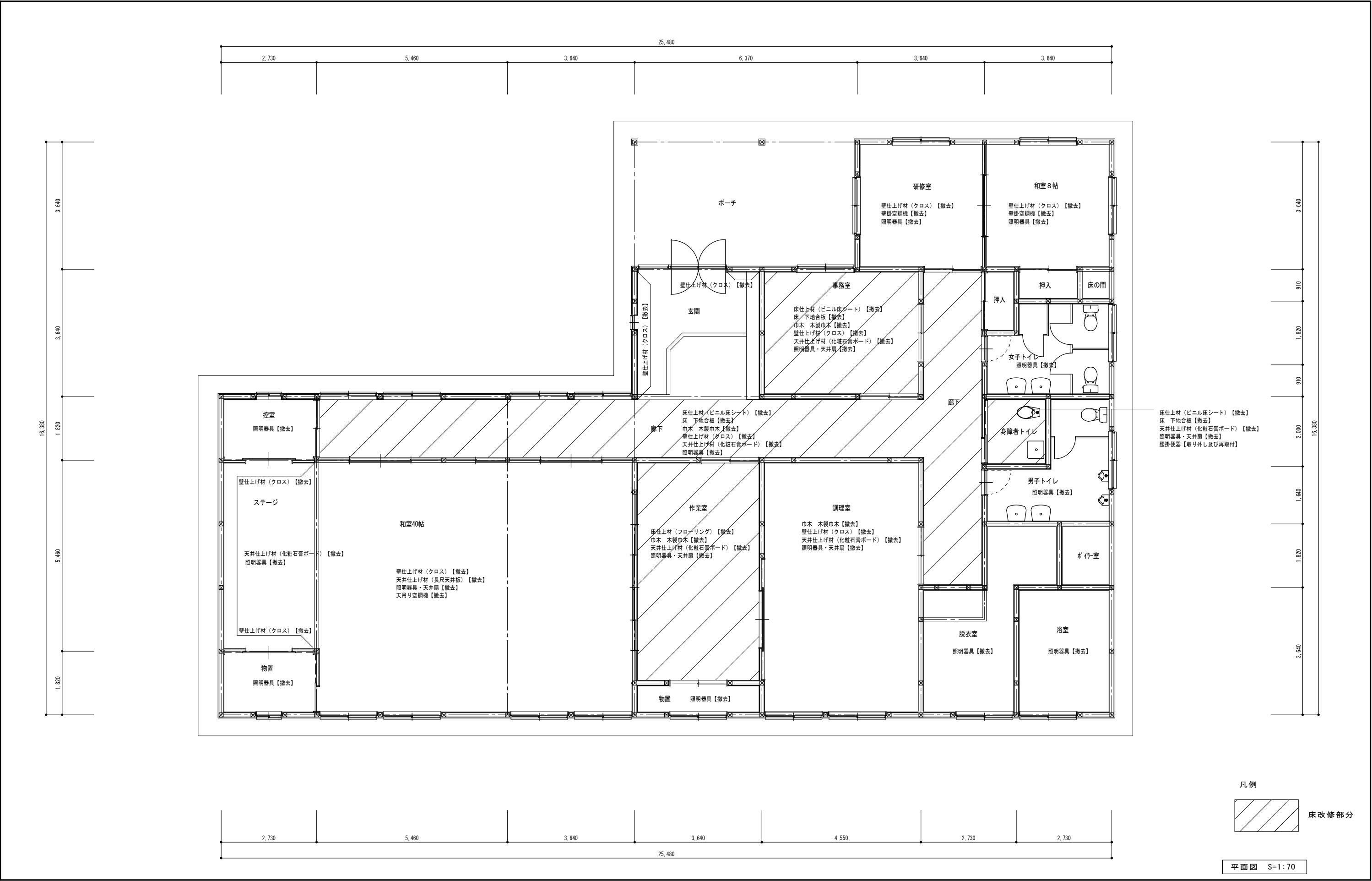
25	建設廃棄物の処理	1. 再資源化等	<div><div>[4. 4. 1]</div><table><tr><td>建設廃棄物の種類</td><td>中間処理施設又は再資源化施設の名称等</td><td>所在地 (k m)</td></tr><tr><td>・コンクリート</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・コンクリート及び鉄から成る建設資材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・アスファルト、コンクリート</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・木材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・金属類</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・小型二次電池</td><td></td><td></td></tr></table><div>[4. 4. 1]</div><table><tr><td>建設廃棄物の種類</td><td>再資源化の有無</td><td>再資源化施設の名称等</td><td>所在地 (k m)</td></tr><tr><td>・蛍光ランプ HIDランプ</td><td>・する ・しない</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・硬質塩化ビニル管・継手</td><td>・する ・しない</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ガラス</td><td>・する ・しない</td><td></td><td></td></tr></table><div>[4. 4. 1]</div><table><tr><td>現場利用する再資源化された建設廃棄物</td><td>利用する場所 (箇所) 等</td></tr><tr><td>種 類</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table><p>※ 鉄筋コンクリートを現地で破砕し、再生材クラッシュラン (0 ~ 40) として利用する場合は、標準仕様書 (表22. 3. 3) の再生材クラッシュランによることとし、すりへり減量を50%以下にすること。</p></div>	建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地 (k m)	・コンクリート			・コンクリート及び鉄から成る建設資材			・アスファルト、コンクリート			・木材			・金属類			・小型二次電池			建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等	所在地 (k m)	・蛍光ランプ HIDランプ	・する ・しない			・硬質塩化ビニル管・継手	・する ・しない			・ガラス	・する ・しない			現場利用する再資源化された建設廃棄物	利用する場所 (箇所) 等	種 類				<div><div>21</div><div>1</div><div>一般事項</div></div> <div>ア ス ベ ス ト 含 有 建 材 の 除 去</div> <p>石綿等の取扱については、大気汚染防止法 (昭和43年6月10日法律第97号) (以下、「大防法」という。) 及び石綿障害予防規則 (平成17年2月24日厚生労働省令第21号) (以下、「石綿則」という。) を遵守すること。</p> <p>施工調査 <9. 1. 1></p> <p>※ 行う (大防法第18条の17により、同法の特定工事に該当するか事前調査を行うこと。調査結果は、図面等に記録し、書面により発注者に説明の上、提出すること。特定工事に該当する場合、受注者は大防法第18条の15による届出書の案を作成し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。)</p> <p>調査事項</p> <p>※ アスベスト含有建材等の使用部位</p> <p>※ アスベスト含有建材等の種類、厚さ、面積</p> <p>※ 施工範囲と工事範囲区分</p> <p>※ 排出等作業の方法</p> <p>・</p> <p>調査結果を公衆に見やすいよう掲示すること。</p> <p>※ 事業場の名称</p> <p>※ 調査結果</p> <p>※ 建築物等の種類</p> <p>※ 調査者及び所属</p> <p>※ 調査方法</p> <p>※ 調査終了年月日</p> <p>・</p> <p>アスベスト含有分析 <9. 1. 1></p> <p>・ 行わない</p> <p>・ 行う (分析結果は監督職員に提出する。)</p> <p>調査箇所</p> <p>※ 施工調査の結果必要と認められた箇所</p> <p>分析方法</p> <p>※ JIS A 1481 「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。</p> <table><tr><td>材 料 名</td><td>定性分析</td><td>定量分析</td></tr><tr><td></td><td>・ (試料数 :)</td><td>・ (試料数 :)</td></tr><tr><td></td><td>・ (試料数 :)</td><td>・ (試料数 :)</td></tr><tr><td></td><td>・ (試料数 :)</td><td>・ (試料数 :)</td></tr></table> <p>アスベスト粉じん濃度測定 <9. 1. 1></p> <p>・ 行わない</p> <p>・ 行う (測定する時期・場所等は下表による)</p> <p>「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法―第1部― : 光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。</p> <table><tr><td>適用</td><td>測定名称</td><td>測定時期</td><td>測定場所</td><td>測定点 (各施工箇所ごと)</td><td>室 名 等</td></tr><tr><td>・ 測定 1</td><td>処理作業前</td><td>処理作業室内 (注 1)</td><td>※ 2 点</td><td>・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 2</td><td></td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>※ 2 点</td><td>・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 3</td><td>処理作業中</td><td>処理作業室内 (注 1)</td><td>※ 2 点</td><td>・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 4</td><td></td><td>セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)</td><td>※ 1 点</td><td>・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 5</td><td></td><td>負圧・粉じん装置の排出吹出口</td><td>※ 1 点</td><td>・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 6</td><td></td><td>(除じん装置の性能確認)</td><td>※ 1 点</td><td>・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 7</td><td>処理作業後シート</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>※ 2 点</td><td>・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 8</td><td>撤去前</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>※ 2 点</td><td>・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 9</td><td>処理作業後シート撤去後</td><td>処理作業室内</td><td>※ 2 点</td><td>・ 点</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※ 2 点</td><td>・ 点</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>測 定 点 総 計</td><td>点</td><td></td></tr></table> <p>注 1 : 周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。</p> <p>(例) アスベスト粉じん濃度測定方法</p> <table><tr><td>測定 3</td><td>測定 1、 2、 4、 6、 7、 8</td><td>測定 5</td></tr></table> <p>数計機器</p> <p>位相差・分散顕微鏡</p> <p>2 5 mm</p> <p>4 7 mm</p> <p>試料の吸引流量</p> <p>1 L / min</p> <p>5 L / min</p> <p>1 0 L / min</p> <p>試料の吸引時間</p> <p>5 min</p> <p>1 2 0 min</p> <p>2 4 0 min</p> <p>試料の透明化</p> <p>アセトン固定―有機物灰化―屈折率浸液法</p> <p>計数条件</p> <p>総合倍率 4 0 0 倍、アスベスト繊維総数、通常 5 0 視野</p> <p>計数アスベスト</p> <p>幅 3 μ m 未満、長さ 5 μ m 以上、アスペクト比 (長さ / 幅) 3 以上</p> <p>定量限界</p> <p>5 0 本 / L</p> <p>0、 4 7 本 / L</p> <p>0、 3 本 / L</p> <p>記録する項目</p> <p>ア. 測定結果</p> <p>イ. 測定時間</p> <p>ウ. 測定位置 (測定高さとともに図面上に記載する。)</p> <p>エ. サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)</p> <p>オ. マウンティング法</p> <p>カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数</p> <p>キ. 測定時 (各測定場所ごと) の天候、温度、湿度、外気の風速及び風量</p> <p>測定機関 <9. 1. 1></p> <p>都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関</p> <p>施工記録報告書の提出</p> <p>1. 施工計画書</p> <p>2. 工事記録及び工事写真</p> <p>3. 産業廃棄物処理記録 (廃石綿)</p> <p>4. 施工調査等記録 (条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等)</p> <p>5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録</p> <p>6. その他必要事項</p> <p>提出部数 3 部作成</p>	材 料 名	定性分析	定量分析		・ (試料数 :)	・ (試料数 :)		・ (試料数 :)	・ (試料数 :)		・ (試料数 :)	・ (試料数 :)	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等	・ 測定 1	処理作業前	処理作業室内 (注 1)	※ 2 点	・ 点		・ 測定 2		施工区画周辺又は敷地境界	※ 2 点	・ 点		・ 測定 3	処理作業中	処理作業室内 (注 1)	※ 2 点	・ 点		・ 測定 4		セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)	※ 1 点	・ 点		・ 測定 5		負圧・粉じん装置の排出吹出口	※ 1 点	・ 点		・ 測定 6		(除じん装置の性能確認)	※ 1 点	・ 点		・ 測定 7	処理作業後シート	施工区画周辺又は敷地境界	※ 2 点	・ 点		・ 測定 8	撤去前	施工区画周辺又は敷地境界	※ 2 点	・ 点		・ 測定 9	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	※ 2 点	・ 点					※ 2 点	・ 点					測 定 点 総 計	点		測定 3	測定 1、 2、 4、 6、 7、 8	測定 5	27	2. 除去工事 共通事項	専門工事業者 <9. 1. 2>	アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。	作業主任者の選出 <9. 1. 2>	石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したもののなかから、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。	除去作業者の教育 <9. 1. 2>	作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けた者とする。	また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。	特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 <9. 1. 2>	排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。	ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。	表示及び掲示 <9. 1. 2>	更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。	※ アスベスト作業主任者名と職務内容	※ 関係者以外立入禁止	※ 喫煙・飲食の禁止	※ 「アスベスト除去作業中」の表示	※ アスベストの有害性	※ 取り扱い上の注意事項	※ 使用すべき保護具	周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。	※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ (労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、曝露防止措置等)」	保護具、保護衣 <9. 1. 2>	作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。	除去したアスベスト含有物の保管、運搬等 <9. 1. 3> <9. 1. 4> <9. 1. 5>	※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管	※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形板を運搬する場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。	※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。	アスベスト含有吹き付け材の除去工事 <9. 1. 3>	・ 行う (適用範囲 ・ 図示 ・ 行わない)	作業場等の隔離等 <9. 1. 3>	※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。	隔離シートの性能	※ 床面	※ 0. 15mm 以上のプラスチックシート等で二重	※ 壁面	※ 0. 08mm 以上のプラスチックシート等	ただし、(一財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術 (除去)」の審査証明書 (以下、「審査証明書」という。) を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。	セキュリティゾーンの設置 <9. 1. 3>	※ 下表による	適用	室名	状態	※	更衣室	※ 更衣ロッカー	※ 新品の保護具			※ 呼吸用保護具保管箱	※ 洗顔、うがい設備			・	・	※	洗浄室	負圧	※ エアシャワー (温水シャワー)			・	・	※	前室	負圧	・ 高性能真空掃除機				・ 使用済み保護衣保管かご	5	アスベスト含有成形板の処理	アスベスト含有成形板の除去工事 <9. 1. 5>	・ 行う (適用範囲 ・ 図示 ・ 行わない)	養生 <9. 1. 5>	※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。	除去工法 <9. 1. 5>	※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。	※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。	※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。	6. アスベスト含有仕上塗材の除去	アスベスト含有仕上塗材の除去工事 <9. 1. 6>	・ 行う (適用範囲 ・ 図示 ・ 行わない)	作業場の区画 <9. 1. 6>	※ 電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は作業場から外部への石綿の飛散防止のため養生シート等で作業場所の隔離養生 (負圧不要) を行う。	除去工法 <9. 1. 6>	※ 石綿含有仕上塗材の除去は、高圧水洗工法や剥離剤を用いる工法等により、湿潤化した状態で行う。	※ 電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤化した状態で作業を行う。	なお、湿潤化が著しく困難な場合は、除じん性能を有する電動工具を使用するなど粉塵の発散を防止する。	※ 除塵した石綿含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋により二重で梱包する。
		建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地 (k m)																																																																																																																																																																																																																														
・コンクリート																																																																																																																																																																																																																																		
・コンクリート及び鉄から成る建設資材																																																																																																																																																																																																																																		
・アスファルト、コンクリート																																																																																																																																																																																																																																		
・木材																																																																																																																																																																																																																																		
・金属類																																																																																																																																																																																																																																		
・小型二次電池																																																																																																																																																																																																																																		
建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等	所在地 (k m)																																																																																																																																																																																																																															
・蛍光ランプ HIDランプ	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																	
・硬質塩化ビニル管・継手	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																	
・ガラス	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																	
現場利用する再資源化された建設廃棄物	利用する場所 (箇所) 等																																																																																																																																																																																																																																	
種 類																																																																																																																																																																																																																																		
材 料 名	定性分析	定量分析																																																																																																																																																																																																																																
	・ (試料数 :)	・ (試料数 :)																																																																																																																																																																																																																																
	・ (試料数 :)	・ (試料数 :)																																																																																																																																																																																																																																
	・ (試料数 :)	・ (試料数 :)																																																																																																																																																																																																																																
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等																																																																																																																																																																																																																													
・ 測定 1	処理作業前	処理作業室内 (注 1)	※ 2 点	・ 点																																																																																																																																																																																																																														
・ 測定 2		施工区画周辺又は敷地境界	※ 2 点	・ 点																																																																																																																																																																																																																														
・ 測定 3	処理作業中	処理作業室内 (注 1)	※ 2 点	・ 点																																																																																																																																																																																																																														
・ 測定 4		セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)	※ 1 点	・ 点																																																																																																																																																																																																																														
・ 測定 5		負圧・粉じん装置の排出吹出口	※ 1 点	・ 点																																																																																																																																																																																																																														
・ 測定 6		(除じん装置の性能確認)	※ 1 点	・ 点																																																																																																																																																																																																																														
・ 測定 7	処理作業後シート	施工区画周辺又は敷地境界	※ 2 点	・ 点																																																																																																																																																																																																																														
・ 測定 8	撤去前	施工区画周辺又は敷地境界	※ 2 点	・ 点																																																																																																																																																																																																																														
・ 測定 9	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	※ 2 点	・ 点																																																																																																																																																																																																																														
			※ 2 点	・ 点																																																																																																																																																																																																																														
			測 定 点 総 計	点																																																																																																																																																																																																																														
測定 3	測定 1、 2、 4、 6、 7、 8	測定 5																																																																																																																																																																																																																																
適用	室名	状態																																																																																																																																																																																																																																
※	更衣室	※ 更衣ロッカー	※ 新品の保護具																																																																																																																																																																																																																															
		※ 呼吸用保護具保管箱	※ 洗顔、うがい設備																																																																																																																																																																																																																															
		・	・																																																																																																																																																																																																																															
※	洗浄室	負圧	※ エアシャワー (温水シャワー)																																																																																																																																																																																																																															
		・	・																																																																																																																																																																																																																															
※	前室	負圧	・ 高性能真空掃除機																																																																																																																																																																																																																															
			・ 使用済み保護衣保管かご																																																																																																																																																																																																																															

外部仕上表										防火材料									
屋 根	改修前	カラーガルバリウム鋼板(厚0.4mm) 勘合式縦平葺き 勾配4/10【在来のまま】							建 具	改修前	アルミサッシ (シルバー)								
	改修後	改修無し								改修後	在来のまま 建具回り シーリング打ち替え								
									根回り	改修前	モルタル塗り刷毛引き仕上げ								
外 壁	改修前	モルタル塗り刷毛引き アクリルリシン吹付								改修後	欠損部補修 モルタル塗り刷毛引き								
	改修後	吹付改修 (A10に示す工程)							ポーチ	改修前	磁器タイル張【改修無し】								
軒裏	改修前	ケイ酸カルシウム板 厚6.0目透かし貼 EP塗り【改修無し】								改修後	在来のまま								
	改修後	改修無し							犬走り	改修前	コンクリート金コテ仕上げ 目地切【改修無し】								
と い	改修前	軒樋:塩ビ製 120半円型 縦樋 60φ 【改修無し】								改修後	在来のまま								
	改修後	改修無し							床下	改修後	床材張替部分はしろあり防除工事								
内部仕上表																			
階	室名		床		巾木		壁		天井									備考	
			基準FL ±床高	仕上げ	仕上げ	仕上げ	仕上げ	仕上げ	廻り縁	天井高	室名札								
1階	玄関	改修前	-150	床タイル 下地 コンクリート			ビニールクロス張り【撤去】 下地 ラワン合板 t=5.5 【存置】		化粧石膏ボード【在来のまま】 下地 木製天井下地 【在来のまま】										
		改修後	-150	床タイル【在来のまま】 下地 コンクリート			ビニールクロス張り 下地 在来 ラワン合板 t=5.5 下地調整						――	2,650					
	玄関ホール	改修前	±0	ビニル床シート張り 【在来のまま】 下地 コンクリート			ビニールクロス張り【撤去】 下地 セっこうボード 【存置】		化粧石膏ボード【在来のまま】 下地 木製天井下地 【在来のまま】										
		改修後	±0	在来のまま	在来のまま		ビニールクロス張り 下地 在来セっこうボード 下地調整	※Q3					――	2,500					
	廊下	改修前	±0	ビニル床シート張り 【撤去】 下地 合板【撤去】 木製床組【在来のまま】		木製巾木 H=60【撤去】	ビニールクロス張り【撤去】 下地 ラワン合板 t=5.5 【存置】		化粧石膏ボード【撤去】 下地 木製天井下地【存置】										
		改修後	±0	ビニル床シート 厚2張り 【新設】 下地 合板【新設】 木製床組【補修】		ビニル巾木 H=60	ビニールクロス張り 下地 在来 ラワン合板 t=5.5 下地調整	※Q3	化粧石膏ボード 厚9.5 下地 木製天井下地(補強)				※Q2	在来のまま	2,500				
	和室40帖	改修前	±0	たたみ敷き 【在来のまま】 下地 合板 木製床組【在来のまま】		畳寄せ 【在来のまま】	ビニールクロス張り【撤去】 下地 セっこうボード 【存置】		長尺天井板【撤去】 下地 木製天井下地【存置】								カーテン【在来のまま】		
		改修後	±0	【在来のまま】	【在来のまま】	【在来のまま】	ビニールクロス張り 下地 在来セっこうボード 下地調整	※Q3	ビニルクロス張り 石膏ボード t=9.5下地 下地 木製天井下地(補強)				※Q3、Q1	在来のまま	2,700				
	ステージ	改修前	+350	木製フローリング 【在来のまま】 下地 木製床組		木製巾木 H=60【撤去】	ビニールクロス張り【撤去】 下地 セっこうボード 【存置】		化粧石膏ボード【撤去】 下地 木製天井下地【存置】										
		改修後	+350	【在来のまま】	ビニル巾木 H=60		ビニールクロス張り 下地 在来セっこうボード 下地調整	※Q3	化粧石膏ボード 厚9.5 下地 木製天井下地(補強)				※Q2	在来のまま	2,700				
	控室・物置	改修前	±0	木製フローリング 【在来のまま】 下地 木製床組		木製巾木 H=60【在来のまま】	化粧合板張り【在来のまま】		化粧石膏ボード【在来のまま】										
		改修後	±0	【在来のまま】	【在来のまま】	【在来のまま】	【在来のまま】		【在来のまま】				――	2,700					
	作業室	改修前	±0	木製フローリング 【撤去】 下地 木製床組 【在来のまま】		木製巾木 H=60【撤去】	化粧合板張り【在来のまま】		化粧石膏ボード【撤去】 下地 木製天井下地【存置】										
		改修後	±0	ビニル床シート 厚2張り 【新設】 下地 合板【新設】 木製床組【補修】		ビニル巾木 H=60	【在来のまま】		化粧石膏ボード 厚9.5 下地 木製天井下地(補強)				※Q2	在来のまま	2,500				
	調理室	改修前	±0	ビニル床シート張り【在来のまま】 下地		木製巾木 H=60【在来のまま】	ビニールクロス張り【撤去】 下地 セっこうボード 【存置】		化粧石膏ボード【撤去】 下地 木製天井下地【存置】										
		改修後	±0	【在来のまま】	【在来のまま】	【在来のまま】	ビニールクロス張り 下地 在来セっこうボード 下地調整	※Q3	化粧石膏ボード 厚9.5 下地 木製天井下地(補強)				※Q2	在来のまま	2,500				
	事務室	改修前	±0	ビニル床シート張り 【撤去】 下地 合板【撤去】 木製床組【在来のまま】		木製巾木 H=60【撤去】	ビニールクロス張り【撤去】 下地 ラワン合板 t=5.5 【存置】		化粧石膏ボード【撤去】 下地 木製天井下地【存置】										
		改修後	±0	ビニル床シート 厚2張り 【新設】 下地 合板【新設】 木製床組【補修】		ビニル巾木 H=60	ビニールクロス張り 下地 在来 ラワン合板 t=5.5 下地調整	※Q3	化粧石膏ボード 厚9.5 下地 木製天井下地(補強)				※Q2	在来のまま	2,500				
	研修室	改修前	±0	たたみ敷き 【在来のまま】 下地 木製床組【在来のまま】		畳寄せ【在来のまま】	ビニールクロス張り【撤去】 下地 セっこうボード 【存置】		ビニルクロス張り【在来のまま】								カーテン【在来のまま】		
		改修後	±0	【在来のまま】	【在来のまま】	【在来のまま】	ビニールクロス張り 下地 在来セっこうボード 下地調整	※Q3	【在来のまま】				――	2,450					
	和室8畳	改修前	±0	たたみ敷き 【在来のまま】 下地 木製床組【在来のまま】		畳寄せ【在来のまま】	ビニールクロス張り【撤去】 下地 セっこうボード 【存置】		長尺天井板【在来のまま】								カーテン【在来のまま】		
		改修後	±0	【在来のまま】	【在来のまま】	【在来のまま】	ビニールクロス張り 下地 在来セっこうボード 下地調整	※Q3	【在来のまま】				――	2,500					
	男子・女子トイレ	改修前	±0	磁器タイル張り 【在来のまま】 下地 モルタル			100角タイル張【在来のまま】		化粧石膏ボード 厚9【在来のまま】										
		改修後	±0	【在来のまま】			【在来のまま】		【在来のまま】				――	2,400					
	身障者用トイレ	改修前	±0	ビニル床シート張り 【撤去】 下地 合板【撤去】 木製床組【在来のまま】			100角タイル張【在来のまま】		化粧石膏ボード【撤去】 下地 木製天井下地【存置】										
		改修後	±0	ビニル床シート 厚2張り 【新設】 下地 合板【新設】 木製床組【補修】		ソフト巾木 H=60	【在来のまま】		化粧石膏ボード 厚9.5 下地 木製天井下地(補強)				※Q2	塩ビ製	2,400				
	倉庫 (脱衣室)	改修前	±0	ビニル床シート張り 【在来のまま】 下地 木製床組【在来のまま】			ビニールクロス張り【在来のまま】		ビニルクロス張り【在来のまま】										
		改修後	±0	【在来のまま】			【在来のまま】		【在来のまま】				――	2,400					
	倉庫 (浴室)	改修前	±0	モルタル金コテ押さえ 【在来のまま】 下地 コンクリート			100角タイル張【在来のまま】		バスリブ【在来のまま】										
		改修後	±0	【在来のまま】			【在来のまま】		【在来のまま】				――	2,400					

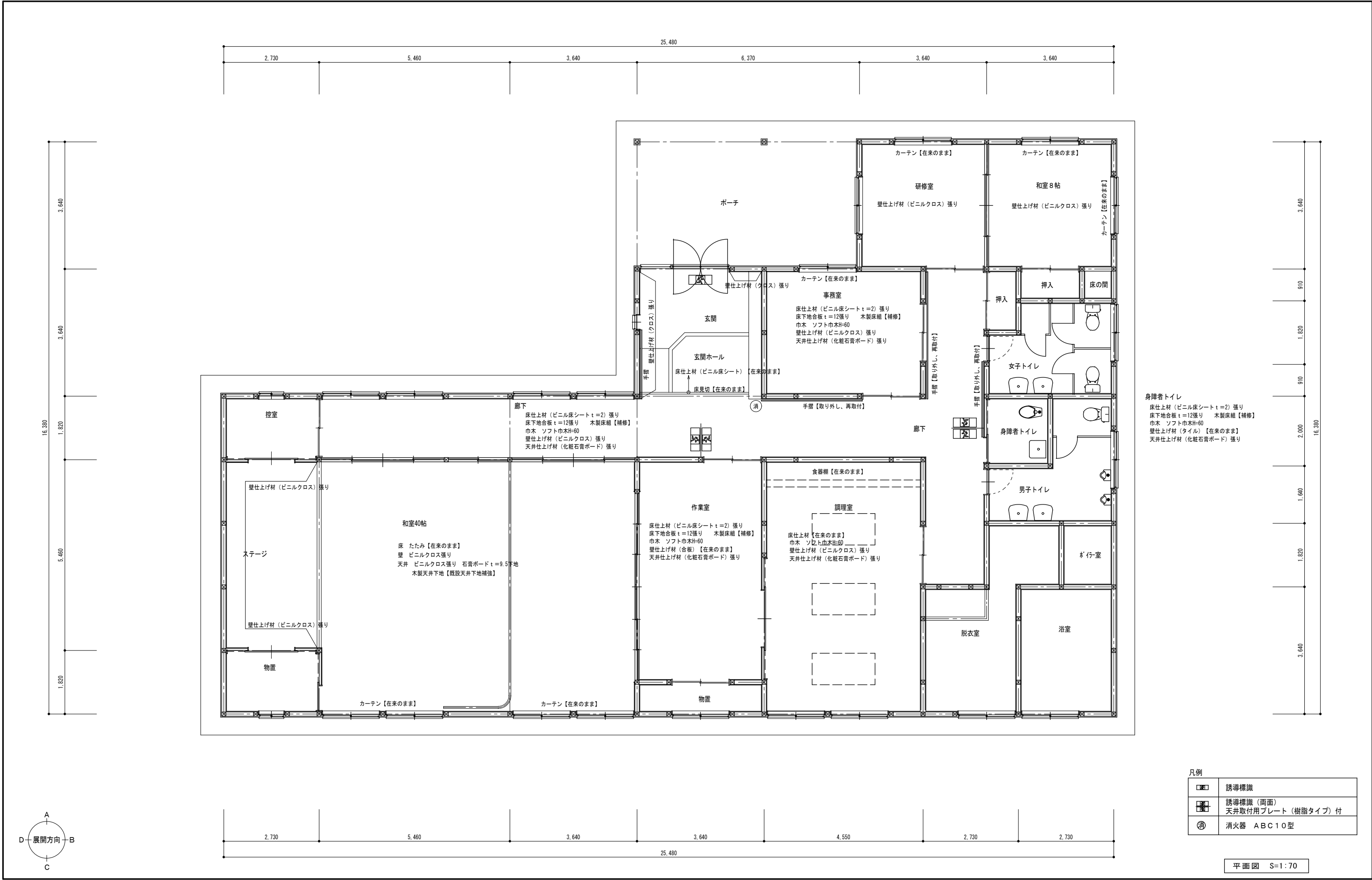
訂 正						舛岡建築設計事務所 広島県安芸高田市高宮町原田4132 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)5664	設計者	意匠	1級建築士（大臣） 162104号 舛岡実千雄 (印)	工事名	横田地域活動拠点施設改修工事				図面番号
								構造		図面名	仕上表				A ／ 6
									構造設計1級建築士 第2920号 舛岡実千雄 (印)	設計年月日	****	縮尺	NS		



訂正					併岡建築設計事務所 広島県安芸高田市高宮町原田4132 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)5664	設計者	意匠	1級建築士(大臣) 162104号 併岡実千雄	①	工事名	横田地域活動拠点施設改修工事			図面番号 A 7
							構造			図面名	配置図・付近見取図			
				註:印刷図面は71%の縮小印刷				構造設計1級建築士 第2920号 併岡実千雄	①	設計年月日	****	縮尺	S=1:200	
				A2→A3										



訂正					併岡建築設計事務所 広島県安芸高田市高宮町原田 4132 1 級建築士事務所 広島県知事登録24(1) 5664	設計者	意匠	1 級建築士（大臣） 1 6 2 1 0 4 号 併岡実千雄 (印)	工事名	横田地域活動拠点施設改修工事				図面番号
							構造		図面名	撤去図				A 8
								構造設計 1 級建築士 第 2 9 2 0 号 併岡実千雄 (印)	設計年月日	****	縮尺	S= 1: 70		
							A 2→A 3							



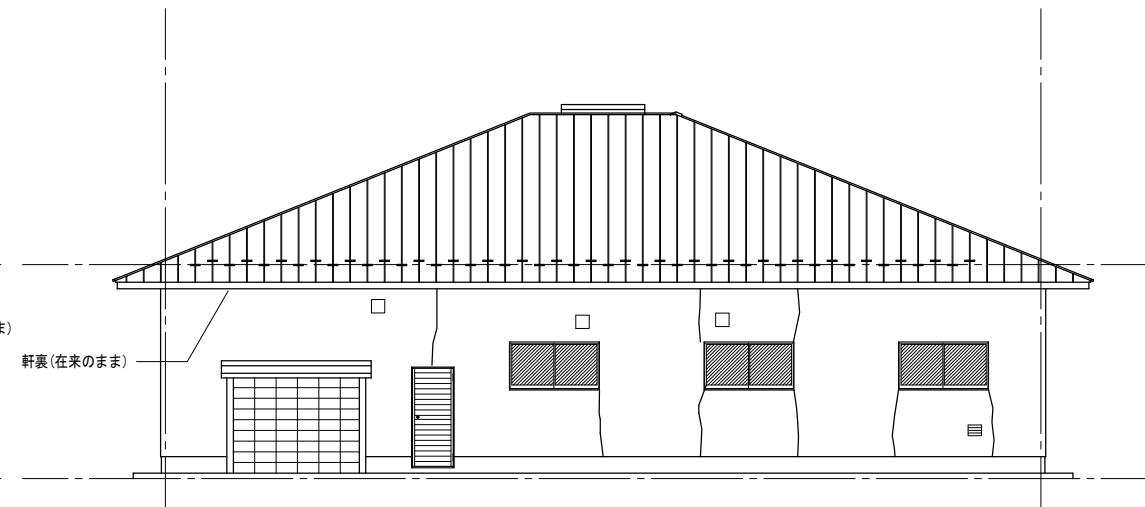
凡例	
	誘導標識
	誘導標識（両面） 天井取付用プレート（樹脂タイプ）付
	消火器 ABC10型

平面図 S=1:70

訂正						設計者	意匠	1級建築士（大臣） 162104号 舩岡実千雄 (印)	工事名	横田地域活動拠点施設改修工事			図面番号 <div>A 9</div>	
							構造			図面名	平面図（改修後）			



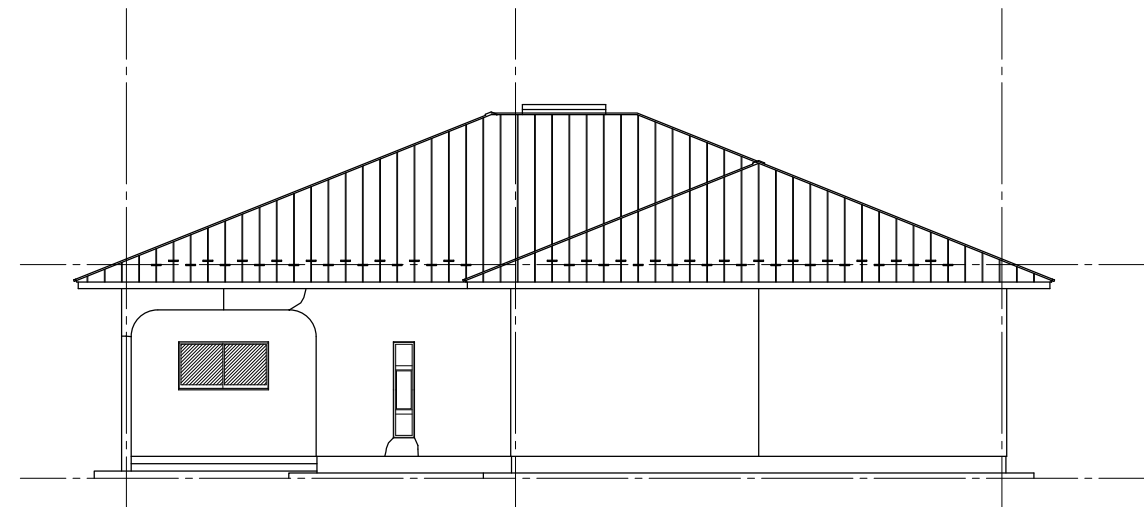
東側 立面図 S=1:100



南側 立面図 S=1:100



西側 立面図 S=1:100



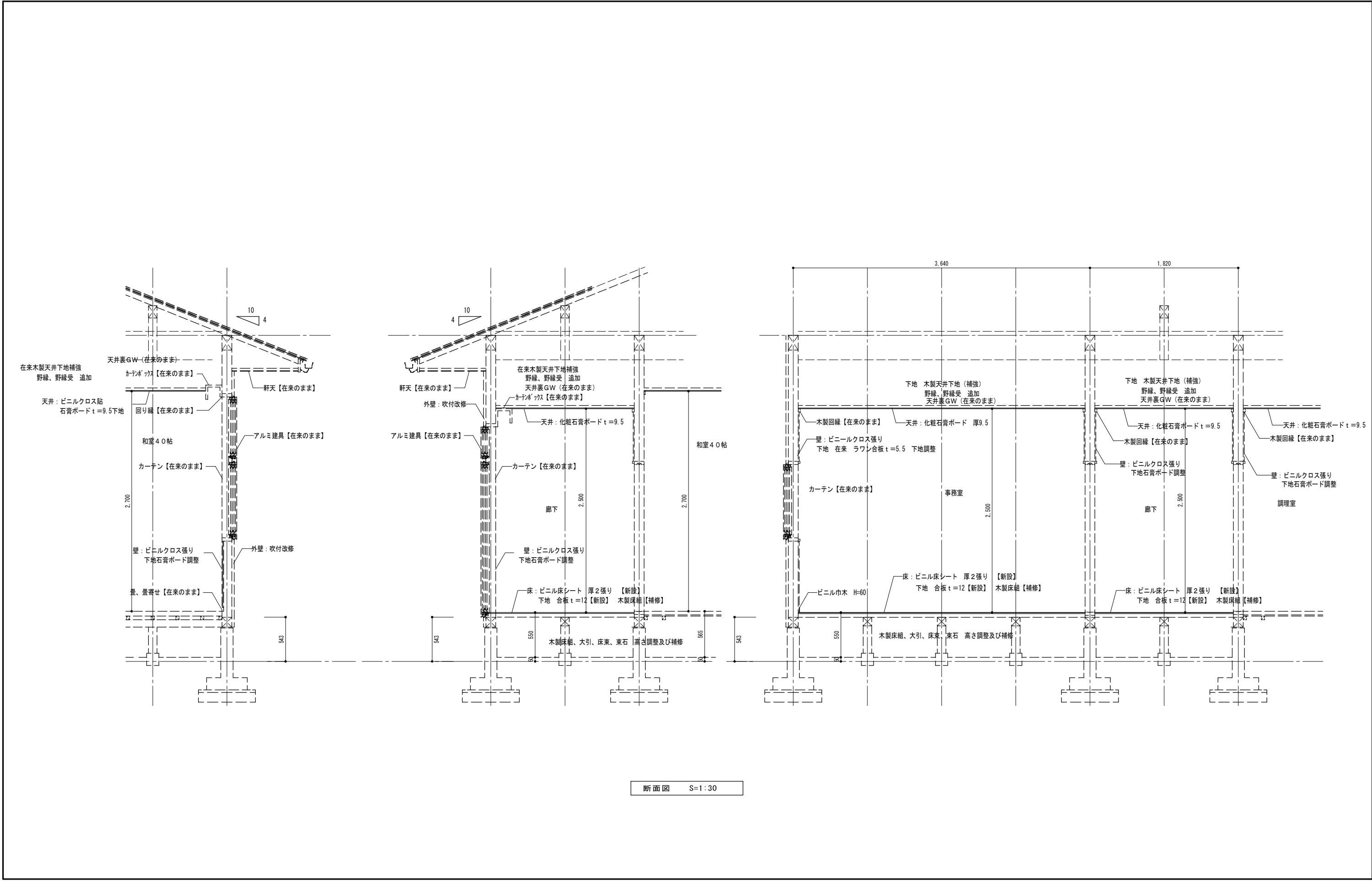
北側 立面図 S=1:100

【外壁改修は足場組立後外壁面を目視、打診等により確認 マーキング、計測を行い監督員の指示を受け行う】

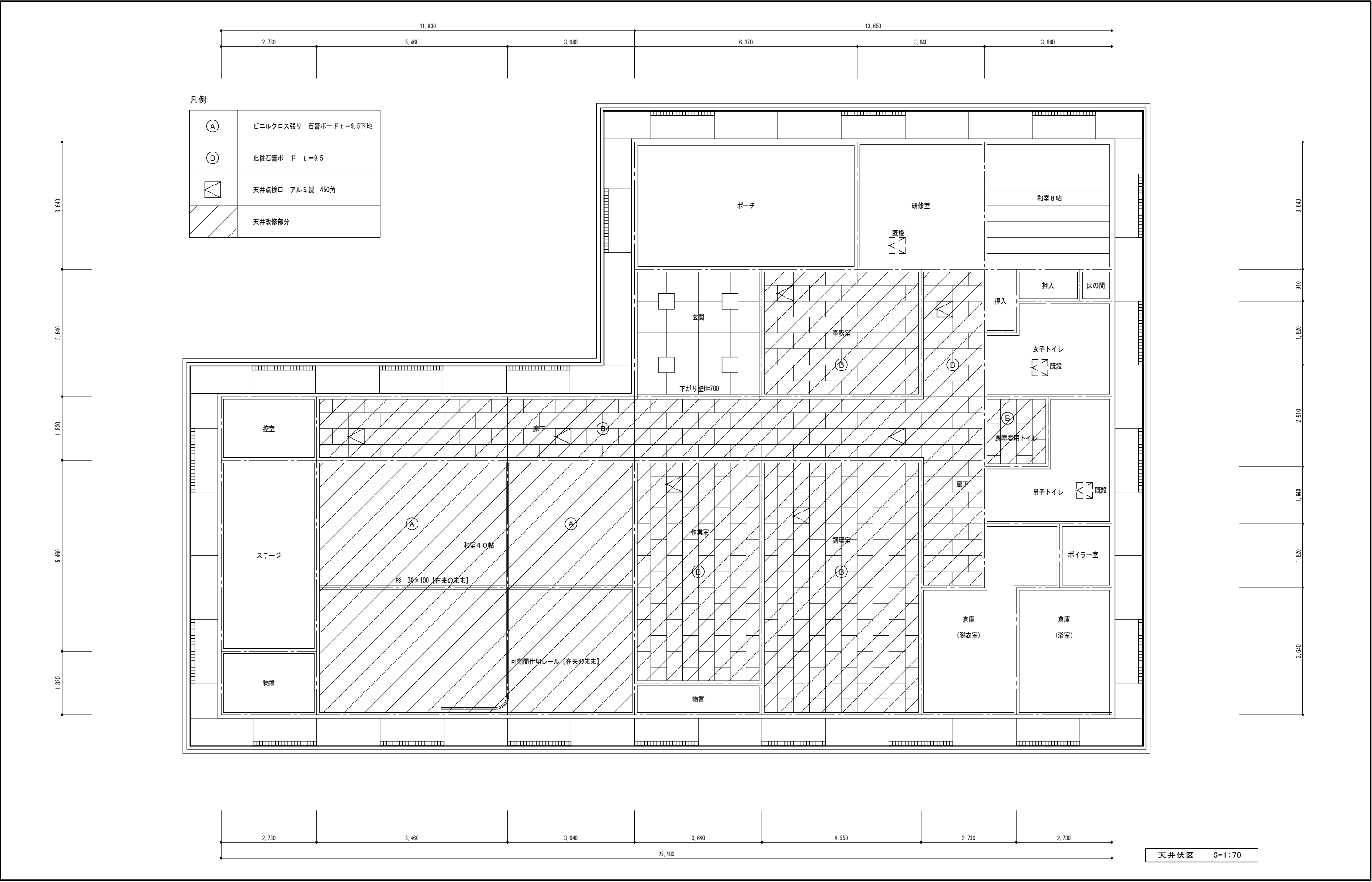
【外壁改修】	仕上げ塗り材仕上げ
ひび割れ部の改修	
1、Uカット可とう性エポキシ樹脂充填工法	
可とう性エポキシ樹脂充填 平滑仕上げ 幅10mm 深さ10mm以上 Uカット工法	
2、ひび割れ部シール工法 ひび割れ部0.2mm未満 可とう性エポキシ樹脂 幅10mm 厚2mm	
3、欠損部エポキシ樹脂モルタル充填工法 エポキシ樹脂・モルタル充填平滑仕上げ 100×100×30mm	
⇩	
既設塗膜面清掃(高圧ポンプによる水洗い、清掃)	
⇩	
下地調整	
⇩	
可とう形改修塗材E(なみがた) ローラー塗り 下塗1回 上塗2回(1液水性反応硬化型ウレタン樹脂塗料仕上げ)	
【根廻改修】	モルタル塗刷毛引き
破損部の補修	
モルタル塗り刷毛引き仕上(破損部のみ)	

凡例	
	ひび割れ部外壁

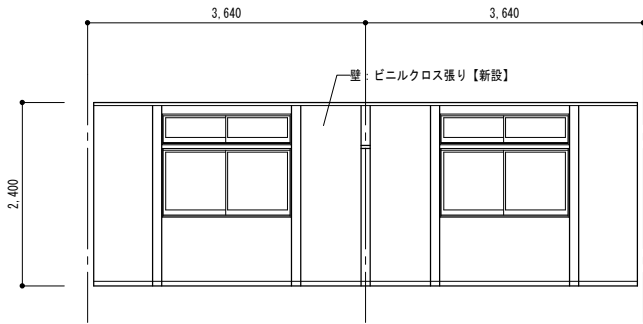
訂正																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



訂正					舩岡建築設計事務所 広島県安芸高田市高宮町原田4132 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)5664	設計者	意匠	1級建築士(大臣) 162104号 舩岡実千雄 (印)	工事名	横田地域活動拠点施設改修工事			図面番号 A 11
							構造		図面名	断面図			
								構造設計1級建築士 第2920号 舩岡実千雄 (印)	設計年月日	****	縮尺	S= 1: 30	
				註: 印刷図面は71%の縮小印刷 A2→A3									

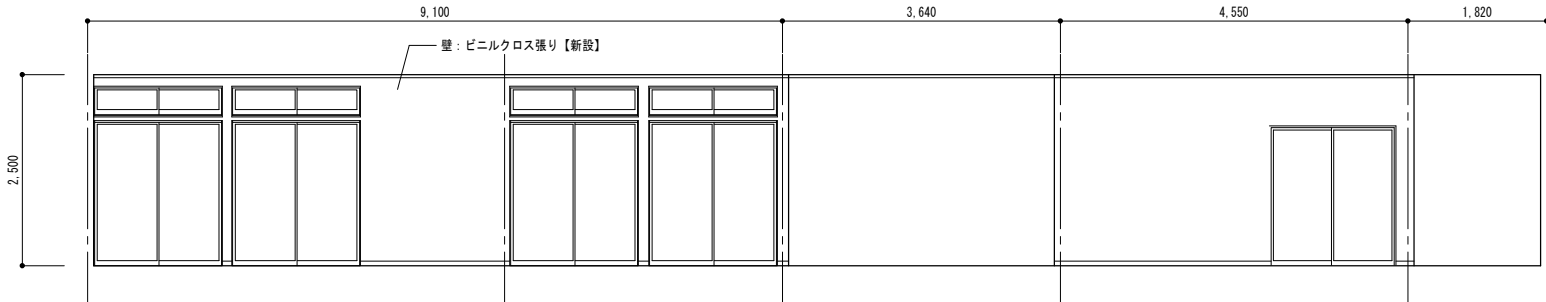


訂正					設計者	意匠	1級建築士（大臣） 162104号 舛岡実千雄 (印)			工事名	横田地域活動拠点施設改修工事			図面番号		
						構造					図面名	天井伏図				
												設計年月日	****	縮尺	S=1:70	A 12
						舛岡建築設計事務所 広島県安芸高田市高宮町原田4132 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)5664										



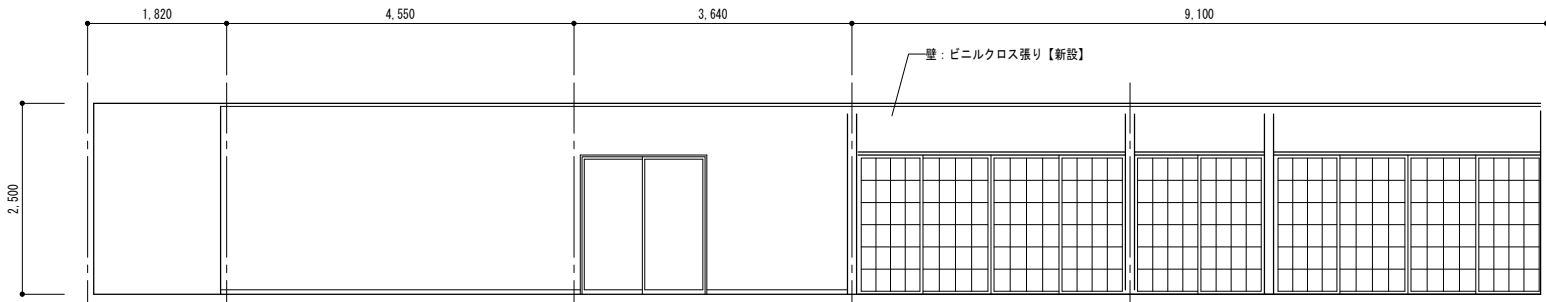
研修室・和室8帖

アルミ建具、木製建具【在来のまま】



廊下

アルミ建具、木製建具【在来のまま】



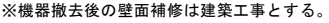
廊下

アルミ建具、木製建具【在来のまま】

訂正					設計者	意匠	1級建築士（大臣） 162104号 舛岡実千雄 ㊞			工事名	横田地域活動拠点施設改修工事			図面番号 <div>A 14</div>
						構造				図面名	展開図2（改修後）			
							構造設計1級建築士 第2920号 舛岡実千雄 ㊞			設計年月日	****	縮尺	S= 1: 70	
				註：印刷図面は71%の縮小印刷 A2→A3	舛岡建築設計事務所 広島県安芸高田市高宮町原田4132 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)5634									

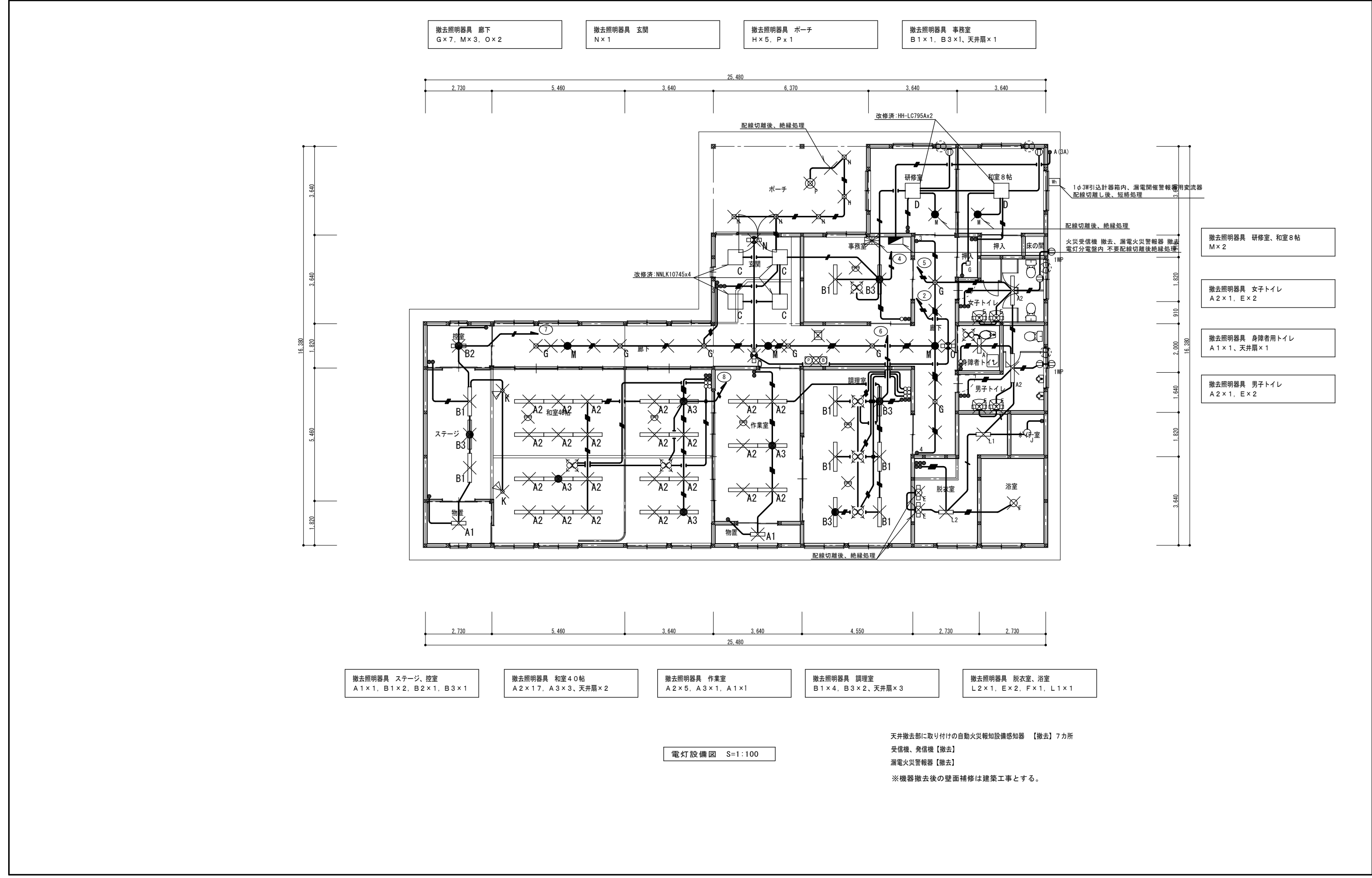
1. 工事名称	横田地域活動拠点施設改修工事		6. 工 事 項 目	仕 様、工 事 内 容 及 び 工 事 区 分	6. 工 事 項 目	仕 様、工 事 内 容 及 び 工 事 区 分	凡 例						
2. 工 事 場 所	安芸高田市美土里町横田		● 幹 線 設 備	施 工 範 囲	低圧配電盤二次側端子接続より分電盤・制御盤等の一次側接続	○ 自動火災報知設備	受 信 機	・ 単 独 ・ 複 合 (・ 自 立 型 ・ 壁 掛 型)	記 号	名 称	適 用	標準取付高さ	
3. 建 物 概 要	・ R C ・ S R C ・ S ○ 木造				まで。 盤類 (・ 含む ・ 含まず)			P 型 1 級 (自火報 2 0 回線 / 防排煙 1 回線)	○	白熱灯形照明	○コード吊 ○ 壁付 ● 非常照明		
	地下 階 / 地上 1 階 / 塔屋 階 / 延面積			電 圧	動力 ○ 3 φ 3 W 2 0 0 V (○ A C ・ G A C)			消火ポンプ起動	□	蛍光灯形照明	□□ 壁付 □● 非常照明組込		
4. 主 な 用 途	・ 地域集会施設 [消防法 第 1 5 項 ()]				動力 ・ 3 φ 3 W V (・ A C ・ G A C)			受信機設置場所					
5. 一 般 事 項					電灯 ・ 3 φ 4 W 2 0 0 / 1 0 0 V (・ A C ・ G A C)				⊕	誘 導 灯	⊕ 通路誘導灯は矢印を記入		
1) 適用基準等	本工事は設計図・特記仕様書によると共に、建築設備工事共通仕様書 (日本建築家協会監修) ・電気設備の技術基準、内線規程、消防法、建築基準法及び、その他関係法令・規則・条例に基づき、完全に施工するものとする。				電灯 ・ 1 φ 3 W 2 0 0 / 1 0 0 V (・ A C ・ G A C)	○ 防排煙制御設備	制 御 盤	・ 単 独 (回 線) ・ 火災報知受信機組込	⊕	高天井照明			
					直流 ・ 2 W 1 0 8 V		制 御 対 象	・ 防火戸 ・ ダンパー ・ 防煙垂壁 ・ 排煙口					
				配 線 種 別	一般電灯動力 (・ 電線管 ○ ケーブル ・ バスダクト)			・ 排煙口 ・ シャッタ	Ⓜ	コンセント	壁付 (2 P 1 5 A × 2) 他は口数傍記	FL + 3 0 0	
2) 疑 義	順位は 1. 現場説明書 2. 本特記仕様書 3. 図面 4. 共通仕様書とする。施工にあたり、疑義が生じた場合は、係員と協議すること。				非常電灯動力 (・ 耐熱電線 ・ 耐火ケーブル	○ 避 雷 設 備	方 式	・ 突 針 ・ 棟上導体			傍記 T は引掛型、E は接地端子付、WP は	和室 + 2 0 0	
3) 官公庁その他の手続	本工事に必要な官公庁への手続きは、請負業者にて代行し、これに要する費用は、請負業者の負担とする。				直 流 (・ 耐熱電線 ・ 耐火ケーブル)						防滴型、H は医用接地型を示す。		
								接 地 極			Ⓜ 床付 2 P 1 5 A × 2		
								突 針 支 持 管					
4) 工 法 の 決 定	施工者は、係員の承認なく、施工方法、使用材料及び使用機器を変更してはならない。 変更を行う場合は、速やかに変更図面を提出し、係員の承認を得た後に施工すること。		● 動力 設 備	施 工 範 囲	制御盤を (・ 含む ○ 含まず) 二次側端子接続より、各動力負荷一次側接続まで。			支 持 管 取 付	・ 自立型 ・ 側壁型	・	ス イ ッ チ	・ 片切 ・ 2 両切 ・ 3 路 ・ 4 路	FL + 1 3 0 0
					インターロック配線 (・ 含む ・ 含まず)			端 子 箱	・ 塩 ビ ・ 黄 銅 ・ ステンレス	・			和室 + 1 2 0 0
					自動制御配線 (・ 含む ・ 含まず)	○ 設 備				・ R	リモコンスイッチ	回路数は傍記による	
5) 提 出 書 類	下記の ○ 印の書類を係員に提出すること。				警 報 盤 (・ 含む ・ 含まず)					⊕	リモコンレグススイッチ	確認ランプ付、窓数傍記	
	工事書類 ○ 工程表 ○ メーカリスト ○ 承認図 ○ 施工図				警 報 配 線 (・ 含む ・ 含まず)					⌘	調 光 器	容量傍記、FL は蛍光灯用	
	完成書類 ○ 官公庁等への諸手続きの写し ○ 検査試験成績表					○ 設 備				・ A	自動点滅器	特記なきは 3 A とする。	
	○ 取扱説明書 ○ 工事記録写真 ○ 竣工図									▽	自動スイッチ	熱線センサー付	
6) 検 査	工事完成後、経済産業局、その他官公庁の各種検査に合格すると共に、係員の検査に合格すること。		● 電灯コンセント設備	施 工 範 囲	分電盤を (・ 含む ・ 含まず) 二次側端子接続より、					⊙	制御用スイッチ	○ L F フロートレススイッチ (極数は傍記)	
				配 線 器 具	配線器具等の取付まで。							○ F フロートスイッチ ○ P 圧力スイッチ	
7) 特 記 事 項	1) 配線器具プレート (・ 樹脂 ○ 新金属 ・ ステンレス ・)				・ 連用型 ○ 大角連用型 ・ ワイド型					⊗	換 気 扇	大きさは傍記、⊗ 天井扇	
	2) 工事項目は、番号の入っている設備項目を適用する。									Ⓜ	開 閉 器	容量は傍記	FL + 1 5 0 0
	3) 仕様、工事内容及び工事区分は、○ 印を付したものを適用する。									Ⓜ	電 灯 分 電 盤		上層 FL + 1 9 0 0
	4) 機器の取付高さは、特に指示のない場合、標準取付高さによること。												
			● 照明器具設備	施 工 範 囲	照明器具の供給取付工事					Ⓜ	動力制御盤		#
				器 具 仕 様	非常照明器具 (○ 専用 ・ 兼用 ・ 組込)					Ⓜ	灯 動 共 用 盤		#
					非常照明用予備電源 (○ 内蔵 ・ 別置)					Ⓜ	警 報 盤		
					誘導灯用非常電源 (・ 内蔵 ・ 別置)					Ⓜ	保 安 器 盤		
										Ⓜ	端 子 盤		
										Ⓜ	接地用端子箱		
6. 工 事 項 目	仕 様、工 事 内 容 及 び 工 事 区 分												
● 引 込 設 備	電 圧 種 別	・ 高 圧 φ W V H z								⊙ ⊙	電話アウトレット	壁付 、 床付 (ローテンションスタンド 共)	
		○ 低 圧 3 φ 3 W 2 0 0 V 6 0 H z	○ 電話配管設備	引 込 方 法	・ 架空 ・ 地中 ・ 構内地中					Ⓜ	情報用アウトレット	壁付 、 床付 (ローテンションスタンド 共)	
		○ 低 圧 1 φ 3 W 2 0 0 - 1 0 0 V 6 0 H z		建 物 内 配 管	・ 配管 ・ ケーブルラック					Ⓜ	電 話 交 換 機		
				構 内 配 線	・ 含む ・ 含まず					Ⓜ	電 話 機		
	引 込 方 式	○ 架空 ・ 地中 ・ 構内地中											
○ 受 変 電 設 備	形 式	・ 閉鎖型 ・ 簡易閉鎖型 ・ 開放組立型	○ 電 話 設 備	交 換 機	・ 含む ・ 含まず						Ⓜ	増 幅 器	
		※本工事では既存設備の一部改修のみ		構 内 配 線	・ 含む ・ 含まず						Ⓜ	遠 隔 操 作 器	
	施 設 場 所	・ 屋内 (階)								⊗ ⊙ ⊕	ス ピ ー カ	天井埋込型 ・ 壁掛型 ・ ホーン型	
		・ 屋外 (・ 地上 ・ 屋上)								Ⓜ	ジャ ッ ク	M : マイクジャック ・ S : スピーカジャック	
										⌘	ア ッ テ ー ナ		
			○ 情報配管設備	引 込 方 法	・ 架空 ・ 地中 ・ 構内地中						Ⓜ	ア ン テ ナ	種類、素子数傍記
				建 物 内 配 管	・ 配管 ・ ケーブルラック						Ⓜ	B S アンテナ	大きさは傍記
○ 発 電 機 設 備	用 途	・ 常用 ・ 非常用 ・ 兼用 ・ コージェネ		配 線	・ 含む ・ 含まず						Ⓜ	T V 機 器 収 納 箱	
	形 式	・ パッケージ型 ・ 据置型 ・ 屋内型 ・ 屋外型									Ⓜ	直 列 ユ ニ ッ ト	7 5 Ω (端子型)
		種 類 (・ ディーゼル ・ ガスタービン)											
		定格出力 2 0 0 k V A 6 0 H Z	○ 放 送 設 備	用 途	・ 非常用 ・ 一般用 ・ 兼 用						Ⓜ	インターホン	親器 ・ 子器
		出力電圧 3 φ 3 W 2 1 0 V		増 幅 器 形 式	・ ロッカー型 ・ 卓上型 ・ デスク型 ・ 壁掛型	8. メ ー カ リ ス ト (その他下記以外で、係員が同等品以上と認めたもの)				Ⓜ	NC トイレ呼出観機		
				増幅器設置場所	・ 守衛室 ・ 事務室 ・ 宿直室	電線ケーブル	J I S 規格品	発 電 機	東芝・日立・三菱・パナソニック	Ⓜ	スピーカ子機	天井埋込型	Ⓜ M マイク子機
						バスダクト		エ ン ジ ン	ヤンマー・三菱・いすゞ・川崎	Ⓜ	呼び出し鈴	トイレ用	
						銅製電線管	パナソニック・東芝・摂陽・日本パイプ・丸一	直流電源装置	ジーエスユアサ・古河・パナソニック	Ⓜ	廊 下 灯	● 確認ボタン	
○ 蓄電池設備	用 途	・ 非常用 ・ 一般 ・ 兼 用	○ テレビ共聴設備	ア ン テ ナ	・ 有 ・ 無	電線管付属品	パナソニック・東芝・摂陽・日亜・外山						
	収 容 形 式	・ 閉鎖型 ・ 開放架台				合成樹脂電線管	積水・パナソニック・古河・ミライ・東拓	電話交換機	N E C ・ 日立・パナソニック・富士通	Ⓜ	時 計	観時計 ・ 子時計	
	蓄電池形式	鉛 (・ H S ・ H S - E ・ M S E)				配 線 器 具	パナソニック・東芝・特保・明工社	放 送 機 器	パナソニック・T O A ・ ビクター・東芝				
		アルカリ (・ A M H ・ A H H ・ A H)				照 明 器 具	パナソニック・東芝・三菱・日立	テ レ ビ 共 聴	D X ・ マスプロ・八木・パナソニック	Ⓜ	避 雷 突 針		
		セル V A H H R	○ インターホン設備	用 途	・ ドアホン ・ 所内連絡 ・ 呼び出し	キュービクル	パナソニック・内外・中電工	電 気 時 計	セイコー・T I C ・ パナソニック	Ⓜ	避雷接地用端子箱		
						高低圧配電盤	パナソニック・内外・中電工	インターホン	パナソニック・アイホン・ケアコム・東芝	□	ボ ッ ク ス	ジョイントボックス ・ ブルボックス	
						制御盤監視盤	パナソニック・内外・中電工	トイレ呼出	パナソニック・アイホン・ケアコム・東芝	Ⓜ	ハ ン ド ホ ー ル	□ マンホール (蓋荷重傍記)	
○ 監視盤設備	形 式	・ 自立型 ・ デスク型				分電盤端子盤	パナソニック・内外・中電工	自火報防排煙	ニッタン・能美・ホーチキ・パナソニック	Ⓜ	接 地 極	種別傍記	
	監 視 対 象	・ 受変電 ・ 衛生動力 ・ 空調動力						避 雷 針	大阪・日本	⌘ / ⌘	配管・配線	立上り、素通し、引下げ	
		・ 温湿度 ・ 発電機	○ トイレ呼出設備	用 途	・ ドアホン ・ 所内連絡 ・ 呼び出し	高 圧 機 器	三菱・日立・東芝エナジーサポート・戸上			――	”	天井	
	計 装 配 線	・ 含 む ・ 含まず				変 圧 器	三菱・日立・東芝・パナソニック・ダイヘン・中機			――	”	床	
						進 相 器	三菱・日立・東芝・パナソニック・ニチコン			――	”	露出	
										――	”	地中	(注 和室は意天)

訂 正					併岡建築設計事務所 広 島 県 安 芸 高 田 市 高 宮 町 原 田 4132 1 級 建 築 士 事 務 所 広 島 県 知 事 登 録 24(1) 5664	設計者 構造	意匠	1 級建築士（大臣） 1 6 2 1 0 4 号 併岡実千雄 (印)	工事名	横田地域活動拠点施設改修工事			図面番号 E 1	
									図面名	電気設備特記仕様書				
									構造設計 1 級建築士 第 2 9 2 0 号 併岡実千雄 (印)	設計年月日	****	縮 尺		S= 1: 70

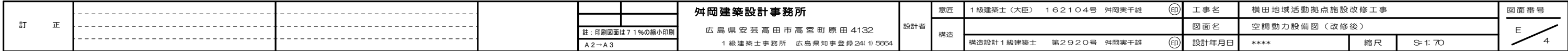


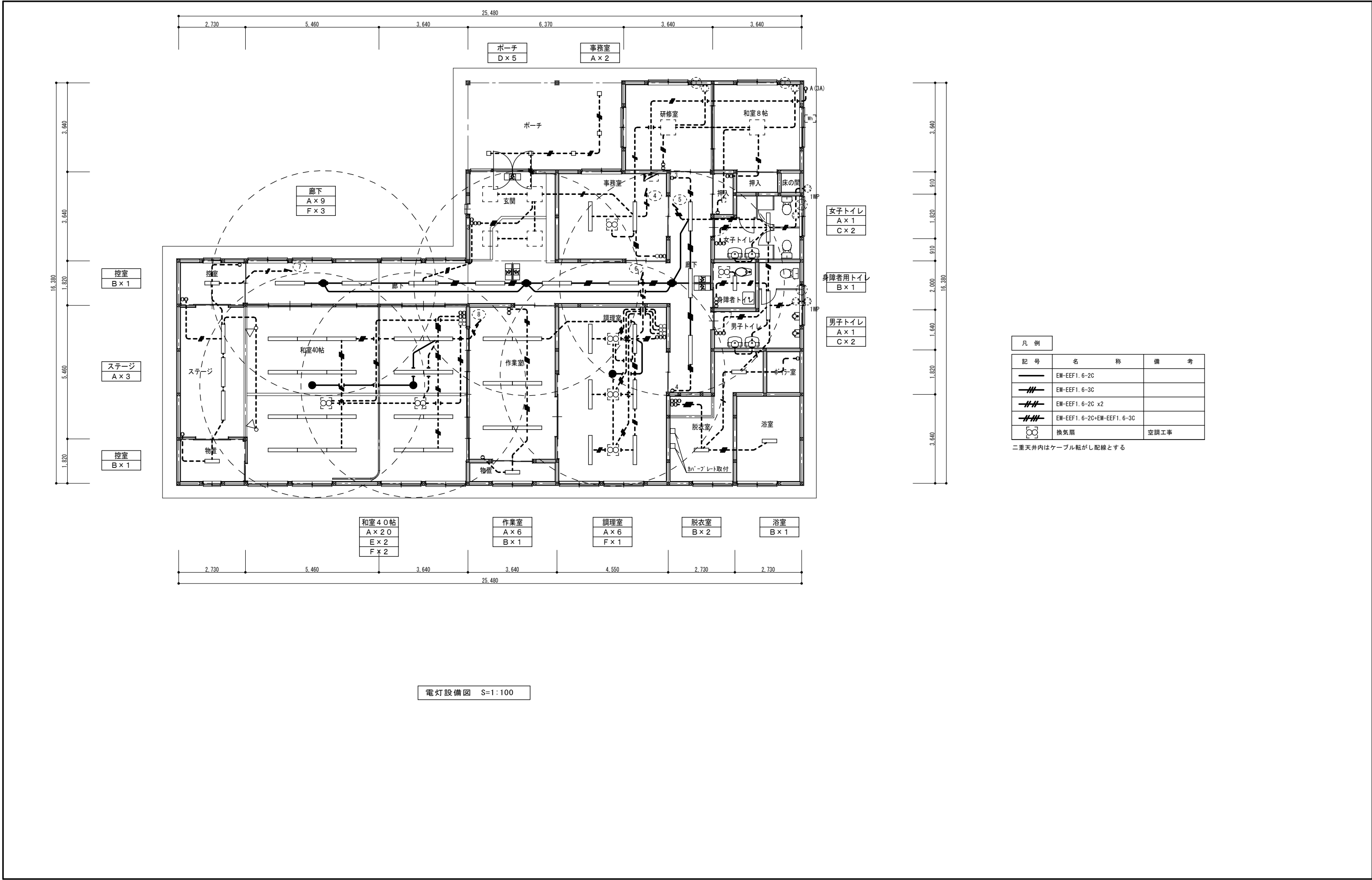
空調動力設備図 S=1:100

訂正					岡岡建築設計事務所 広島県安芸高田市高宮町原田4132 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)5654	設計者	意匠	1級建築士（大臣） 162104号 岡岡実千雄 (印)	工事名	横田地域活動拠点施設改修工事			図面番号 E / 2
							構造		図面名	空調動力設備撤去図			
									設計年月日	****	縮尺	S= 1: 100	
				註：印刷図面は71%の縮小印刷 A2→A3			構造設計1級建築士 第2920号 岡岡実千雄 (印)						



訂正					併岡建築設計事務所 広島県安芸高田市高宮町原田4132 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)5664	設計者	意匠	1級建築士(大臣) 162104号 併岡実千雄 (印)	工事名	横田地域活動拠点施設改修工事			図面番号 E 3
							構造		図面名	照明器具・換気・自動火災報知設備撤去図			
									構造設計1級建築士 第2920号 併岡実千雄 (印)	設計年月日	****	縮尺	

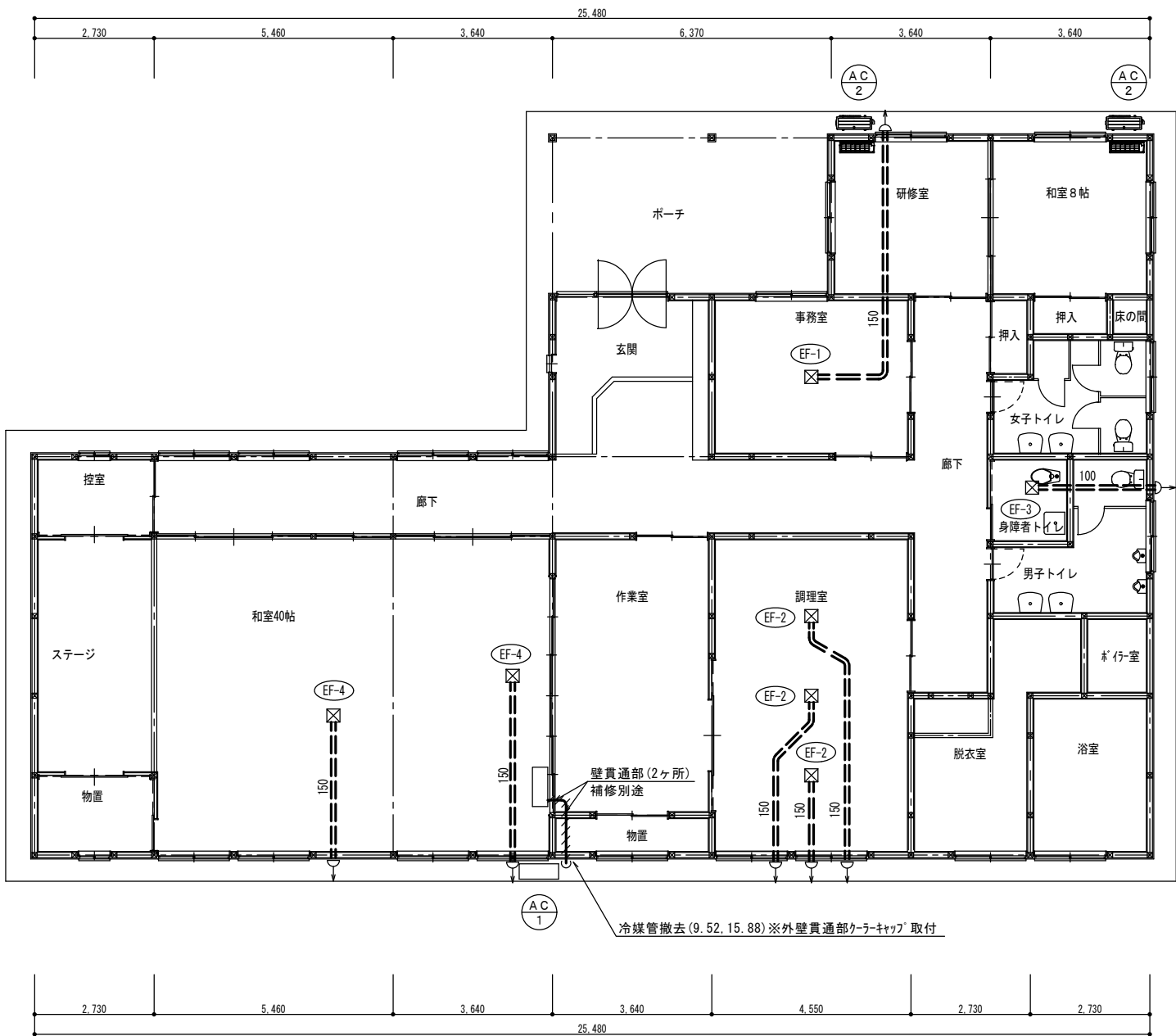




電灯設備図 S=1:100

特記仕様書

建 物 概 要						工 事 概 要										配 管 材 料 お よ び 保 温 材																			
工 事 名 称		横田地域活動拠点施設改修工事				給 排 水 衛 生 設 備 工 事										空 気 調 和 設 備 工 事						名 称		材 料		保温材・仕上材		区 分							
工 事 場 所		安芸高田市美土里町横田				給 水 設 備 工 事										空 調 設 備 工 事						給 水 管		耐 衝 撃 性 硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管 (HIVP)		土 中 (50A以下)									
工 事 種 別		・ 新 築 ・ 増 築 ・ 〇 改 築				給 水 源										設 計 条 件																			
建 物 概 要		建 物 名 称		構 造		階 数		延床面積(㎡)		消防法 別表第一		給 水 方 式		・ 水道直結 (・ 直圧方式 ・ 増圧方式)				屋 外 条 件		(広島)		夏 季		冬 季		汚 水 管		硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管 (VP)		GW保温材		屋内・P・S			
		集会所		木造		地下 階 地上1階		308		* 項一 (・*)		集 中 検 針		・ 有り ・ 無し				一般系統		2 6 . 0℃		成 行		2 2 . 0℃										成 行	
												遠 隔 工 事 の 配 管 と 配 線		・ 本工事 ・ 別途工事 (・ 建築 ・ 電気 ・ その他)						℃		%		℃										%	
消 防 関 係						追 記 事 項										空 調 方 式						排 水 管		硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管 (VP)		GW保温材		屋内・屋外・PS							
工 事 項 目						給 水 設 備 工 事										熱 源 燃 料																			
・ 給排水衛生設備						〇 空気調和設備										・ 個別 ・ 中央																			
・ 給 水 設 備 工 事		〇 空 調 機 器 設 備 工 事				排 水 設 備 工 事										空 調 機 器						通 気 管		硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管 (VP)		GW保温材		屋内・PS							
		・ 排 水 設 備 工 事		〇 空 調 配 管 設 備 工 事		排 水 方 式										・ バッケージエアコン ・ ビル用マルチエアコン ・ ルームエアコン																			
						屋 内 (汚水・雑排水) ・ 合流式 ・ 分流式										・ ガスヒートポンプエアコン ・ エアーハンドリングユニット																			
		・ 衛 生 器 具 設 備 工 事		・ 空 調 ダクト 設 備 工 事		屋 外 (汚水・雨水) ・ 合流式 ・ 分流式										・ ファンコイル ・ コンベクター																			
		・ 給 湯 設 備 工 事		〇 換 気 設 備 工 事		放 流 管										・ アングルフランジ工法																			
		・ ガ ス 設 備 工 事		・ 自 動 制 御 設 備 工 事		追 記 事 項										・ コーナーボルト工法 (長辺1 . 5 0 0 mm以下適応)																			
・ 消 火 設 備 工 事		・ 排 煙 設 備 工 事		放 流 管										・ スパイラルダクト ・ その他 ()																					
・ 浄 化 槽 設 備 工 事				追 記 事 項										・ 垂鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ ガルバニウム鋼板																					
				追 記 事 項										・ 塩ビライニング鋼板 ・ 塩化ビニル																					
				追 記 事 項										予備フィルターは機器表による。																					
				追 記 事 項										換 気 設 備 工 事																					
				給 湯 設 備 工 事										換 気 方 式																					
				給 湯 方 式										・ 第1種 ・ 第2種 ・ 第3種																					
				機 器										・ 個別 ・ 天井扇 ・ 全熱交換器 ・ 有圧扇																					
				熱 源										・ 中央式 ・ 外調機 ・ シロッコファン ・ その他 ()																					
				追 記 事 項										ダクト方式																					
				追 記 事 項										・ 低速ダクト ・ 高速ダクト																					
				追 記 事 項										矩 形 ダクト																					
				追 記 事 項										・ アングルフランジ工法																					
				追 記 事 項										・ コーナーボルト工法 (長辺1 . 5 0 0 mm以下適応)																					
				追 記 事 項										円 形 ダクト																					
				追 記 事 項										〇 スパイラルダクト ・ その他 ()																					
				追 記 事 項										ダクト材質																					
				追 記 事 項										〇 垂鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ ガルバニウム鋼板																					
				追 記 事 項										・ 塩ビライニング鋼板 ・ 塩化ビニル																					
				追 記 事 項										外気・給気ダクトは全て断熱被覆 (GW25mm) のこと。																					
				追 記 事 項										排気・還気ダクトは外壁より1mは断熱被覆 (GW25mm) のこと。																					
				追 記 事 項										厨房用換気ダクトは断熱被覆 (RW50mm) のこと。																					
				追 記 事 項										厨房ダクトの板厚は火災予防条例に準拠すること。																					
				追 記 事 項										自 動 制 御 設 備 工 事																					
				追 記 事 項										制 御 方 式																					
				追 記 事 項										・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 (D D C) ・ 空気式																					
				追 記 事 項										排 煙 設 備 工 事																					
				追 記 事 項										開 放 装 置																					
				追 記 事 項										・ ワイヤー式 ・ 電気式																					
				追 記 事 項										復 帰 装 置																					
				追 記 事 項										・ 手動式 ・ 遠隔式																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追 記 事 項																					
				追 記 事 項										追																					



換気機器表 (既存)

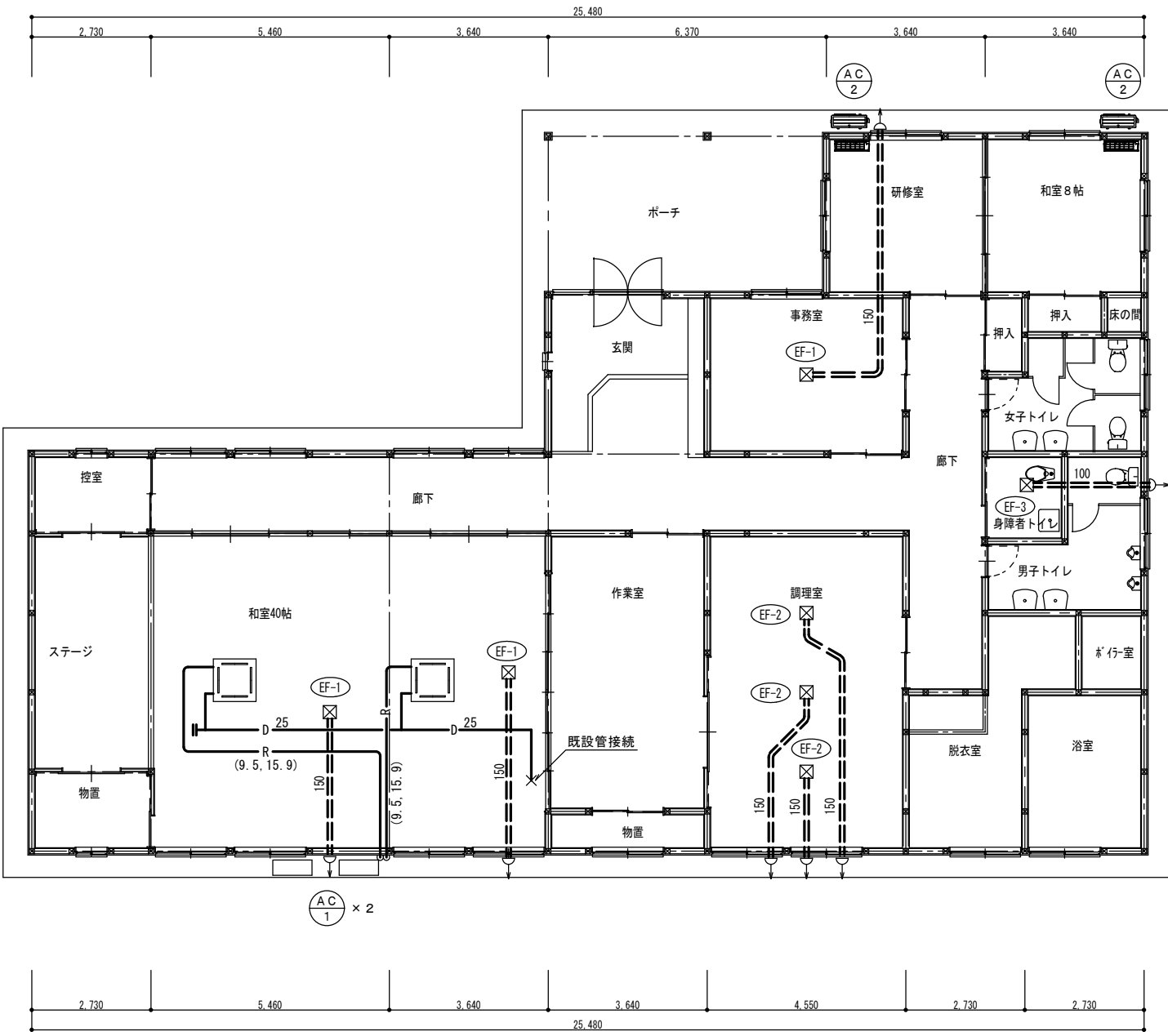
記号	名称	機器仕様		電気容量		台数	備考 (設置場所)
				電源	定格容量		
EF-1 (撤去)	天井扇	形式	居室用	単相100V	26W	1	事務室
		能力	150φ x 575m ² /h				
		その他					
EF-2 (撤去)	天井扇	形式	台所用	単相100V	75W	3	調理室
		能力	150φ x 340m ² /h				
		その他					
EF-3 (撤去)	天井扇	形式	サニタリー用	単相100V	75W	1	身障者用トイレ
		能力	100φ x 180m ² /h				
		その他					
EF-4 (撤去)	天井扇	形式	居室用	単相100V	115W	2	和室40帖
		能力	150φ x 600m ² /h				
		その他					

空調機器表 (既存)

記号	名称	機器仕様		電源	既存型式	台数	備考
既AC-1 (撤去)	パッケージエアコン	型式	天吊型	3相200V	SPW-CHJ112U	1	集会室
		能力	冷房: 10.0Kw 暖房: 11.2Kw				
		電気容量	室外機: 送風機:				
			室内機:				
		その他					
既AC-2 (撤去)	ルームエアコン	型式	壁掛型	1相100V	RAS-281JR	2	和室、研修室
		能力	冷房: 2.8Kw 暖房: 3.6Kw				
		電気容量	室外機: 送風機:				
			室内機:				
		その他					

※ 既設冷媒撤去

平面図 S=1:100



換 気 機 器 表 (新設)

記 号	名 称	機 器 仕 様		電 気 容 量		参 考 型 式	台 数	備 考 (設置場所)
				電 源	定格容量			
EF-1	天井扇	形 式	居室用			VD-23ZVE6-EP	3	和室40帖・事務室
		能 力	150φ x 575m ² /h	単相100V	85.0W			
		そ の 他						
EF-2	天井扇	形 式	台所用			VD-20ZV6	3	調理室
		能 力	150φ x 340m ² /h	単相100V	38.0W			
		そ の 他						
EF-3	天井扇	形 式	サニタリー用			VD-15Z13	1	身障者用トイレ
		能 力	100φ x 180m ² /h	単相100V	15.5W			
		そ の 他						

既設天井扇を撤去の上、新設天井扇取付 既設ダクト、フードに接続

空 調 機 器 表 (新設)

記 号	名 称	機 器 仕 様		電 源	台 数	備 考
AC-1	パ ッ ケ ー ジ エ ア コ ン	型 式	天井カセット型	3相200V	2	和室40帖
		能 力	冷 房 : 10.0Kw 暖 房 : 11.2Kw			
		消費電力	2,300W 2,000W			
		そ の 他	リモコン			
AC-2	ル ー ム エ ア コ ン	型 式	壁掛型	1相200V	2	研修室・和室8帖
		能 力	冷 房 : 4.0Kw 暖 房 : 5.0KW			
		消費電力	1,280W 1,340W			
		そ の 他	リモコン			

平面図 S=1:100